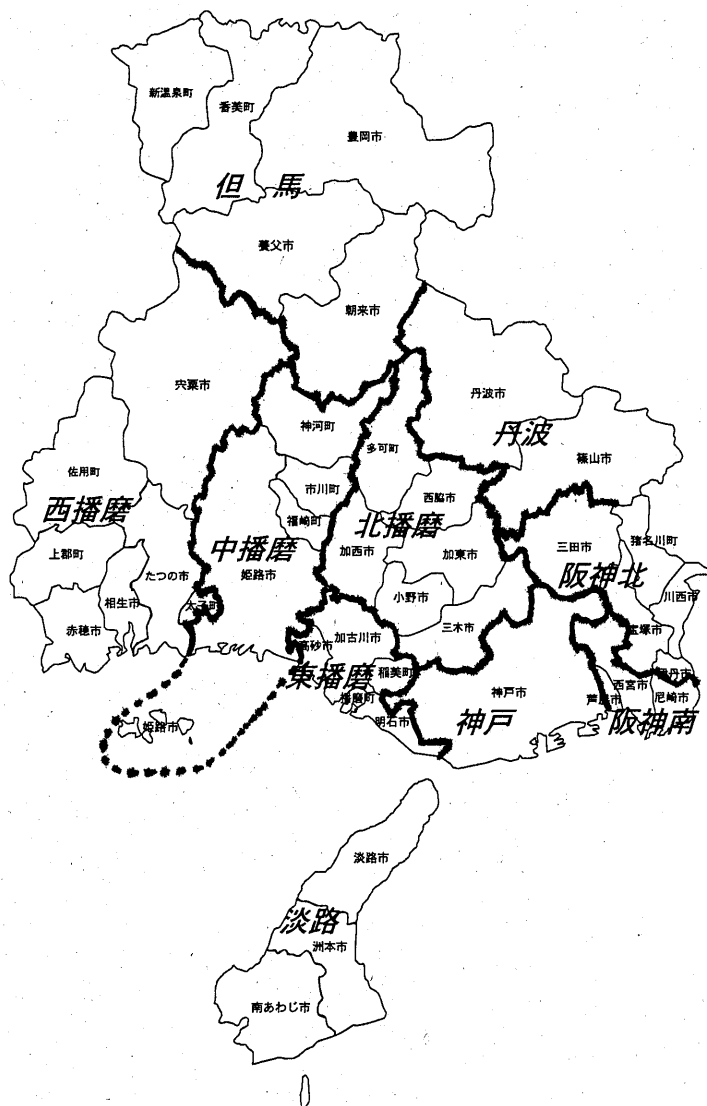


# 第3部 圏域重点推進方策



区分		面積 (単位:平方km)	人口(単位:人) 平成19年9月 推計人口
2次保健 医療圏域	神戸	552.55	1,530,295
	阪神南	167.64	1,029,886
	阪神北	480.98	717,696
	東播磨	266.20	718,403
	北播磨	895.56	288,479
	中播磨	865.06	583,417
	西播磨	1,567.24	277,548
	但馬	2,133.50	187,340
	丹波	870.89	113,826
淡路	595.85	147,923	
兵庫県		8,395.47	5,594,813

# 神戸保健医療圏域

## 1 圏域の概要

### (1) 地域の特徴

(構成市町、地勢上の特徴、交通等について、数行～半ページ程度)

圏域は、政令市である神戸市全域で設定している。

神戸市は兵庫県のほぼ中央に位置し、東は芦屋市、西宮市、北は宝塚市、三田市、三木市、西は稲美町、明石市に接しており、総面積は 552.80k m<sup>2</sup> (平成 19 年 9 月 1 日現在神戸市調べ) で県土面積の 6.6%を占めている。

神戸市の地勢は、六甲の山々、穏やかな瀬戸の海、起伏のある変化に富んだ地形という自然に恵まれたところであり、大都市でありながらも、豊かな山麓、田園地帯が残されている。また、六甲山系によって南北に二分され、南部は、東西に細長く、高密度な都市機能が集積しており、北・西部では大規模なニュータウンが開発されている

行政区域として見てみると、東灘、灘、中央、兵庫、長田、須磨、北、垂水、西の 9 つの区に分かれており、市街地が、東灘～垂水区にかけて広がり、大規模な住宅団地が北区、須磨区北部、垂水区北部、西区に多く見られる。また、北区、西区には豊かな自然が残されている。

道路網は、東西方向の主要幹線として、臨海部に、阪神高速道路神戸線、阪神高速道路湾岸線、ハーバーハイウェイ、国道 2 号、国道 43 号があり、内陸部に、山陽自動車道、中国自動車道、阪神高速道路北神戸線、第二神明道路、第二神明道路北線、山麓バイパス、西神戸有料道路がある。また、南北方向の主要幹線として、神戸淡路鳴門自動車道、新神戸トンネル、六甲有料道路、六甲北有料道路、国道 428 号、国道 175 号がある。その他現在、阪神高速道路神戸山手線、神戸西バイパス、第二名神自動車道が事業中である。

鉄道網では、市内外を東西につなぐ、JR 西日本の在来線及び新幹線、阪急電鉄、阪神電鉄、山陽電鉄、神戸高速鉄道が整備されており、市街地と西北神方面のニュータウンを結び、市北部の都市とつなぐ、神戸電鉄や北神急行電鉄、市営地下鉄西神・山手線が整備されている。また、臨海部の市街地には、市営地下鉄海岸線、神戸新交通ポートアイランド線、六甲アイランド線が整備されている。

平成 18 年 2 月に神戸空港が開港し、空・海・陸の交通網が充実した。これにより、人・もの・情報の新たな交流が生まれことが期待される。

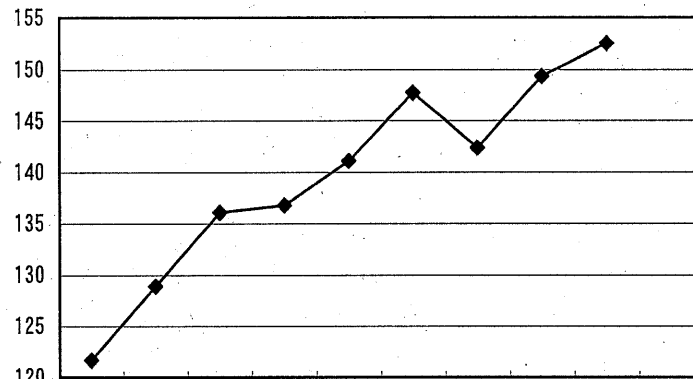
(2) 人口

① 人口推移

(単位：人)

年次	総人口
昭和40年	1,216,666
45年	1,288,937
50年	1,360,605
55年	1,367,390
60年	1,410,834
平成2年	1,477,410
7年	1,423,792
12年	1,493,398
17年	1,525,393
19年	

総人口(万人)

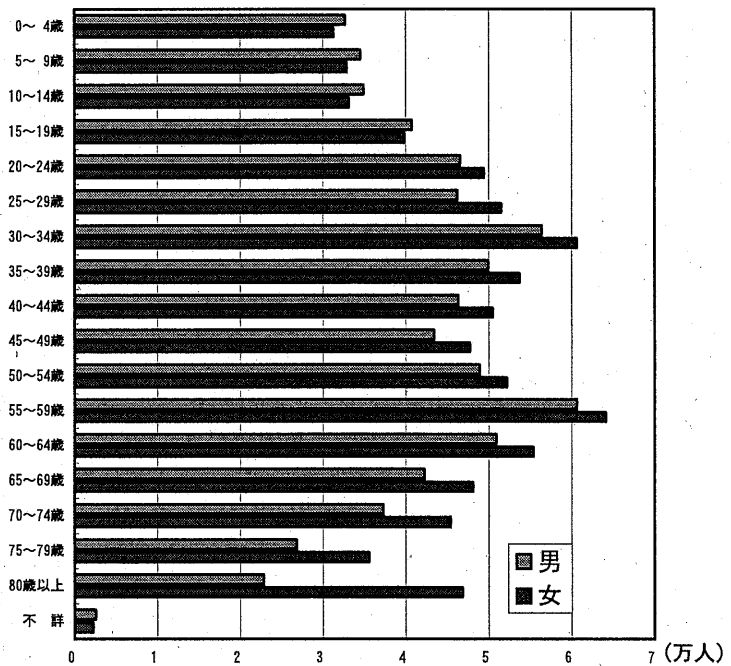


資料 総務庁統計局「国勢調査報告」  
兵庫県推計人口(平成19年10月)

② 性別・年齢階級別人口

(平成17年) (単位：人)

区分	男	女
0～4歳	32,721	31,304
5～9歳	34,569	32,880
10～14歳	34,958	33,176
15～19歳	40,790	39,860
20～24歳	46,598	49,448
25～29歳	46,273	51,526
30～34歳	56,423	60,646
35～39歳	49,977	53,752
40～44歳	46,377	50,483
45～49歳	43,433	47,771
50～54歳	48,928	52,209
55～59歳	60,650	64,145
60～64歳	50,932	55,421
65～69歳	42,280	48,140
70～74歳	37,279	45,449
75～79歳	26,817	35,610
80歳以上	22,845	46,881
不詳	2,577	2,265
合計	724,427	800,966



資料 総務省統計局「平成17年国勢調査報告」

(3) 人口動態

① 人口動態の推移

年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8 年	12,668	8.9	10,102	7.1	73	5.7
10 年	12,815	9.0	10,686	7.5	62	4.8
12 年	13,160	8.8	10,873	7.3	70	5.3
14 年	13,008	8.6	11,138	7.4	59	4.5
16 年	12,722	8.4	11,658	7.7	59	4.6
17 年	12,278	8.1	12,267	8.0	48	3.9
(全県 17 年)	47,273	8.6	46,657	8.5	228	4.8

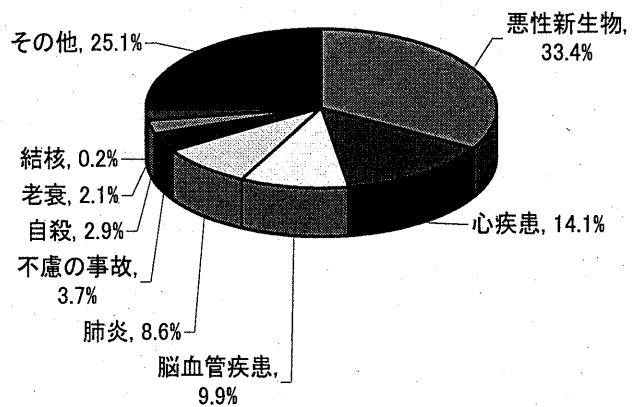
資料 厚生労働省「人口動態統計」

※(3)①の平成 17 年の数値は、後日(平成 19 年 12 月頃)平成 18 年の数値に修正する。

② 死因別死亡割合

(平成 17 年) (単位: 人)

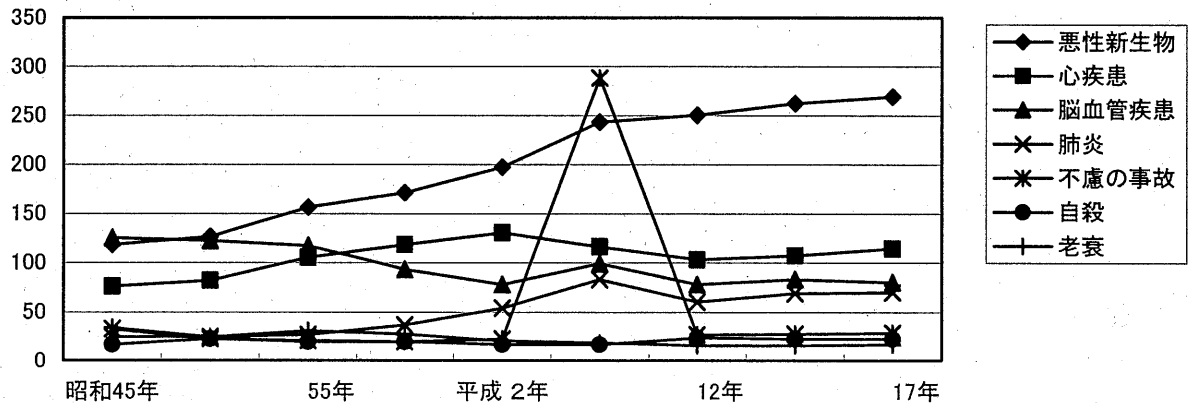
死因	死亡数
悪性新生物	4,104
心疾患	1,733
脳血管疾患	1,213
肺炎	1,061
不慮の事故	448
自殺	355
老衰	253
結核	23
その他	3,077
計	12,267



資料 厚生省「平成 17 年人口動態統計」

③ 主な死因別死亡率の推移

死亡率(人口10万対)





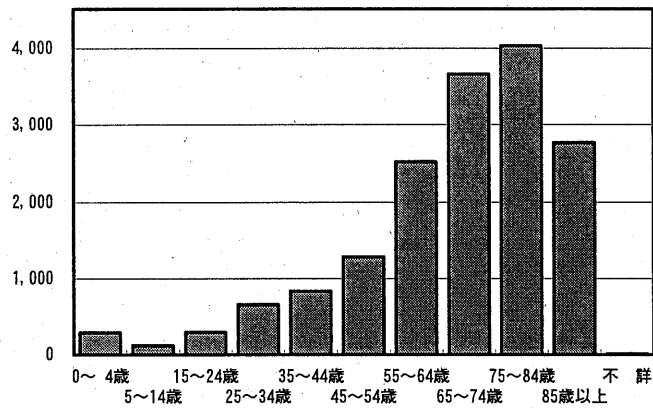
(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数

(平成17年) (単位:人)

区分	入院患者数
0～4歳	297
5～14歳	121
15～24歳	299
25～34歳	661
35～44歳	838
45～54歳	1,285
55～64歳	2,523
65～74歳	3,664
75～84歳	4,027
85歳以上	2,770
不詳	11
合計	16,497

入院患者数(人)



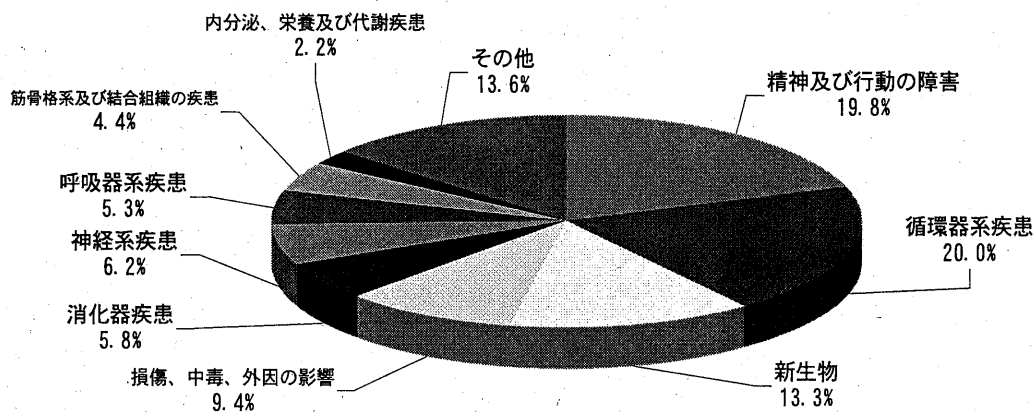
資料 厚生労働省「平成17年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

入院推計患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入院 患者数(人)	圏域内への入院割 合(%)
精神及び行動の障害	3,273	2,196	67.1
循環器系疾患	3,292	2,747	83.4
新生物	2,187	1,873	85.6
損傷、中毒、外因の影響	1,557	1,294	83.1
消化器疾患	955	836	87.5
神経系疾患	1,017	655	64.4
呼吸器系疾患	869	758	87.2
筋骨格系及び結合組織の疾患	723	546	75.5
内分泌、栄養及び代謝疾患	369	325	88.1
その他	2,255	1,889	83.8
合計	16,497	13,119	79.5

資料 厚生労働省「平成17年患者調査」



## (5) 保健医療施設

## ① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成17年10月現在)

	施設数	人口10万対	
		神戸圏域	全 県
病 院	107	7.0	6.3
一 般 診 療 所	1,545	101.3	85.8
歯 科 診 療 所	889	58.3	51.2

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

## ② 病床数

(平成19年4月1日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病床数	既 存 病床数	うち、療 養病床	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数
神戸圏域	13,202	14,910	3,495	—	3,653	—	100	—	10
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調べ」

## ③ 診療科別一般病院延べ数

(平成17年10月現在)

		内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 経 科	神 経 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科
		病 院 数	89	25	54	48	36	31	16	70	71
人 口 10万対	圏域	5.8	1.6	3.5	3.1	2.4	2.0	1.0	4.6	4.7	1.8
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

		心臓血 管外科	産婦 人科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リハビリテ ーション科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科・ 口 腔 外 科
		実 数	13	16	31	27	33	38	65	63	31
人 口 10万対	圏域	0.9	1.0	2.0	1.8	2.2	2.5	4.3	4.1	2.0	1.4
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

## ④ 薬局数

(平成19年3月31日現在)

実数	人口10万対	
	神戸圏域	全 県
705	46.2	41.9

資料「兵庫県薬務課調べ」

## ⑤ 訪問看護ステーション数

(平成19年3月31日現在)

実 数	人口10万対	
	神戸圏域	全 県
106	6.9	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

## (6) 保健医療従事者

## ① 医師

※ ①～③の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

## 〈医師数〉

(平成16年12月末現在)

	実 数	人口10万対	
		神戸圏域	全 県
医 師	4,058	267.0	207.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

## 〈主な診療科別医師数〉

		内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科
実数		1,033	46	168	143	238	189	34	323	276	86
人口 10万対	圏域	68.0	3.0	11.1	9.4	15.7	12.4	2.2	21.3	18.2	5.7
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

		心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
実数		45	138	210	135	111	91	19	87	97
人口 10万対	圏域	3.0	9.1	13.8	8.9	7.3	6.0	1.3	5.7	6.4
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	1.4	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

② 歯科医師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		神戸圏域	全県
歯科医師	1,144	75.3	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

③ 薬剤師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		神戸圏域	全県
薬剤師数	4,210	277.0	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

④ 看護職員 (平成18年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	神戸圏域	全県
助産師	239	74	22	21	356	23.3	17.5
看護師	8,110	1,388	-	1,191	10,689	700.1	618.7
准看護師	1,626	1,097	-	474	3,197	209.4	248.7

	従事先					人口10万対	
	保健所	市	事業所	その他	合計	神戸圏域	全県
保健師	10	149	17	103	279	18.3	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	429

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市(市栄養改善業務に従事)	市における配置率(%)	
			神戸圏域	全県
	4	14		

資料 「行政栄養士等の調査」

⑥ 歯科衛生士 (平成18年12月末現在) (平成19年4月現在)

	業務従事者数	人口10万対	
		神戸圏域	全県
歯科衛生士	1,032	67.5	63.7

資料 「平成18年業務従事者届」

行政従事 歯科衛生士数	実数
	10

(健康福祉事務所調べ)

## 2 圏域の重点的な取組

圏域で3～5項目程度選定し、2～5ページ程度で記載

### (1) 項目名 (例：母子保健)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (2) 項目名 (例：小児救急医療)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

## 阪神南保健医療圏域

### 1 圏域の概要

#### (1) 地域の特徴

本圏域は、兵庫県の南東部に位置し、3市(尼崎市、西宮市、芦屋市)からなり、東西21km、南北21kmの地域で、南部には平野が広がり、北西部には六甲山系の丘陵地となっている。

内陸部は良好な住宅街が形成され、臨海部は阪神工業地帯として我が国の産業・経済を先導してきた地域である。

また、道路網については、中国自動車道や阪神高速道路3号神戸線等が、鉄軌道についてはJR東海道線、阪神電鉄本線、阪急電鉄神戸線等が整備され、公共の交通網が整備されているほか、重要港湾尼崎西宮芦屋港があり、物流拠点を形成している。

なお、平成7年の阪神・淡路大震災により雇用・産業をはじめ各方面に甚大な被害を被り人口も一時減少したが、今では回復している。

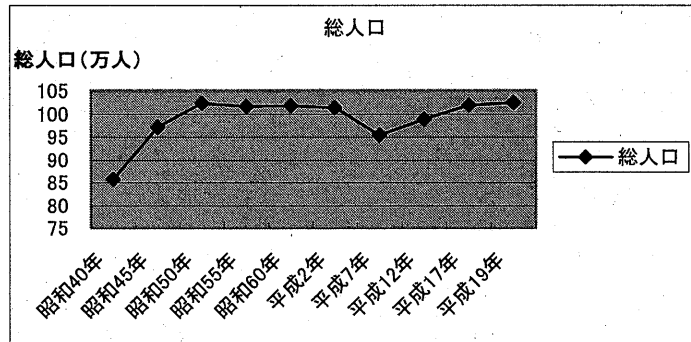
(2) 人口

① 人口推移

年次	総人口
昭和 40 年	856,492
45 年	970,784
50 年	1,022,616
55 年	1,015,724
60 年	1,017,509
平成 2 年	1,013,432
7 年	954,007
12 年	988,126
17 年	1,018,402
19 年	1,025,030

資料 総務省統計局「国勢調査報告」  
兵庫県推計人口（平成 19 年）

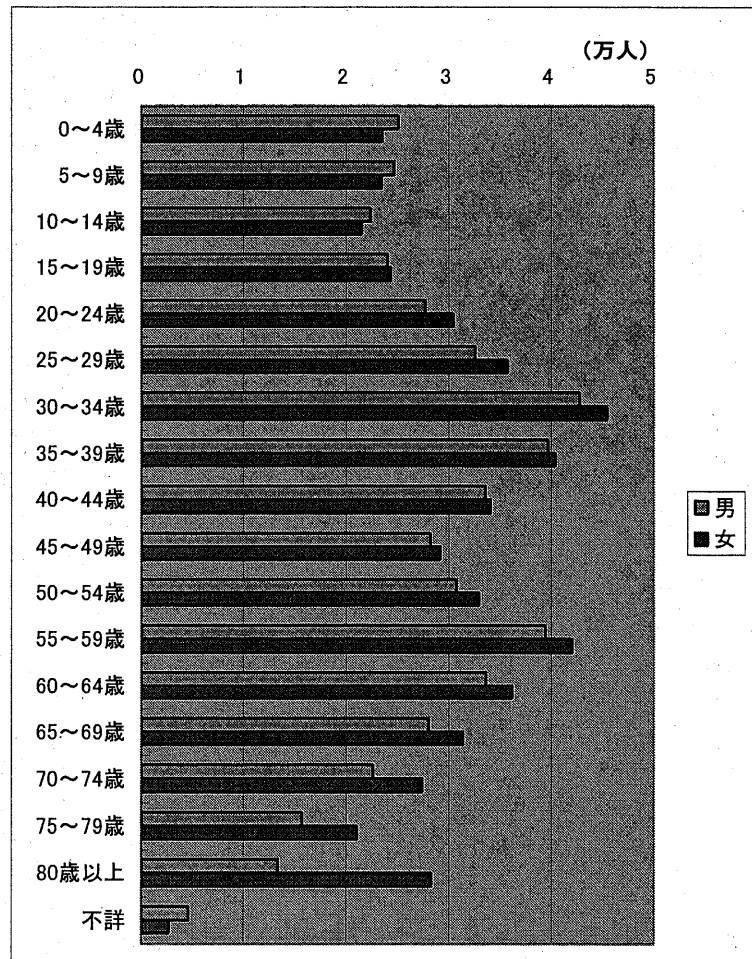
(単位：人)



② 性別・年齢階級別人口

(平成 17 年) (単位：人)

区分	男	女
0～4 歳	25,079	23,553
5～9 歳	24,686	23,478
10～14 歳	22,350	21,513
15～19 歳	24,040	24,329
20～24 歳	27,716	30,461
25～29 歳	32,566	35,698
30～34 歳	42,804	45,456
35～39 歳	39,670	40,412
40～44 歳	33,515	34,040
45～49 歳	28,212	29,148
50～54 歳	30,746	32,936
55～59 歳	39,417	42,019
60～64 歳	33,573	36,124
65～69 歳	27,992	31,343
70～74 歳	22,611	27,368
75～79 歳	15,728	21,061
80 歳以上	13,363	28,284
不詳	4,612	2,671
合計	488,680	529,894



資料 総務省統計局「平成 17 年国勢調査報告」

(3) 人口動態

① 人口動態の推移

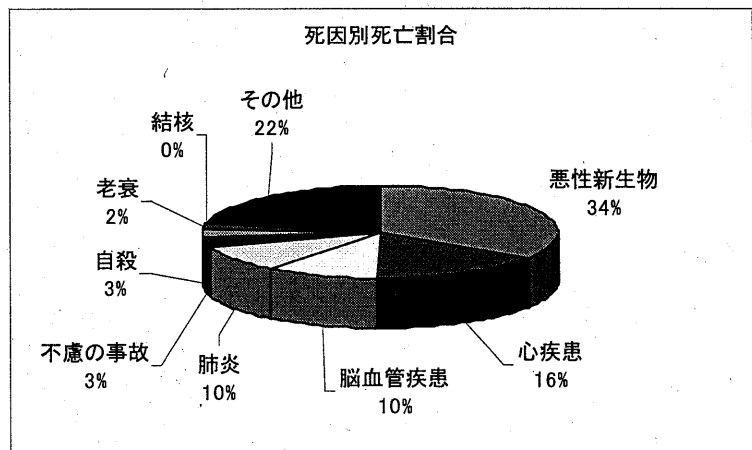
年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8 年	9,176	9.7	6,549	6.9	54	5.9
10 年	9,985	10.4	6,822	7.1	53	5.3
12 年	10,306	10.4	7,037	7.1	47	4.5
14 年	10,343	10.3	7,060	7.0	48	4.6
16 年	9,963	9.9	7,628	7.5	41	4.1
17 年	9,434	9.3	8,016	7.9	54	5.7
(全県 17 年)						

※ 平成 17 年の数値は、後日 (平成 19 年 12 月頃) 平成 18 年の数値に修正する。

② 死因別死亡割合

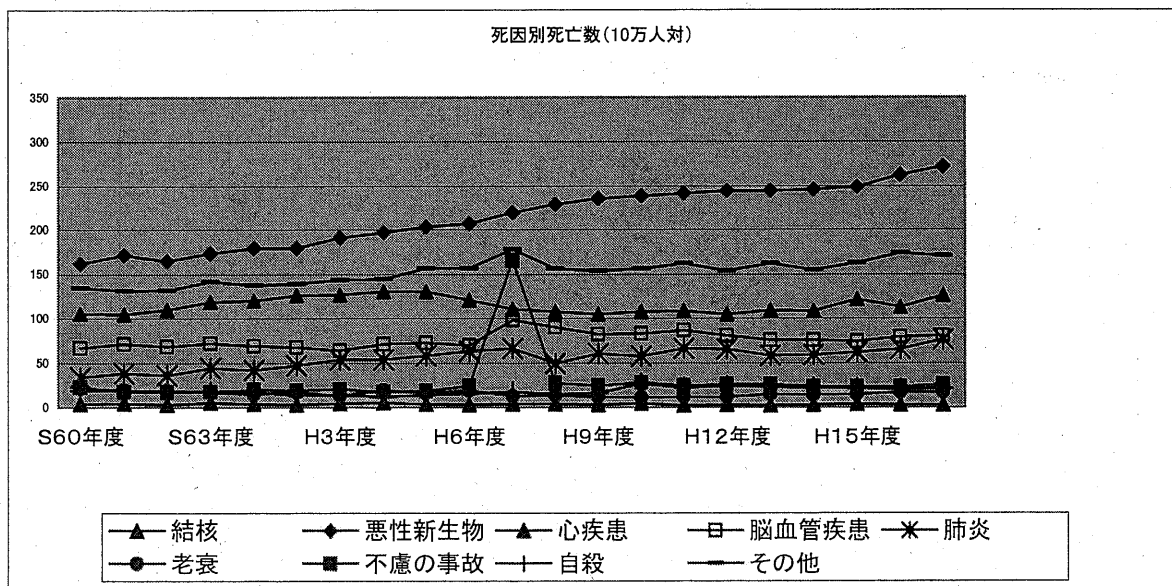
(平成 17 年) (単位: 人)

死因	死亡数
悪性新生物	2,758
心疾患	1,274
脳血管疾患	813
肺炎	769
不慮の事故	258
自殺	218
老衰	168
結核	32
その他	1,726
計	8,016



資料 厚生省「平成 17 年人口動態調査」

③ 主な死因別死亡率の推移



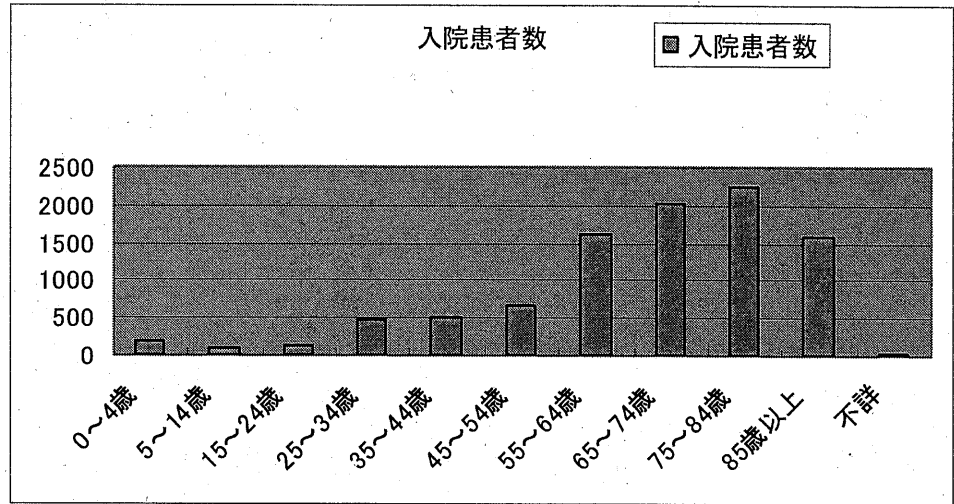


(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数 (平成17年)

(単位:人)

区分	入院患者数
0~4歳	202
5~14歳	100
15~24歳	126
25~34歳	460
35~44歳	516
45~54歳	666
55~64歳	1620
65~74歳	2013
75~84歳	2238
85歳以上	1569
不詳	26
合計	9536

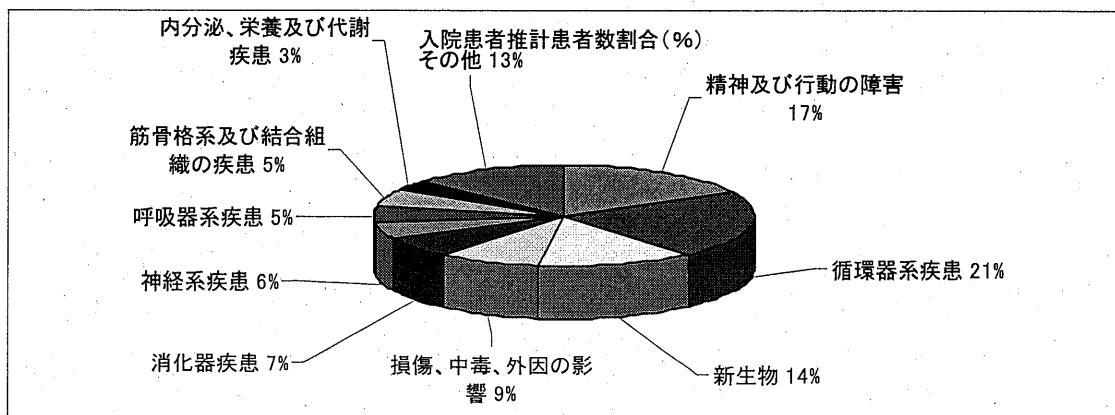


資料 厚生省「平成17年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数	うち圏域内の入院患者数	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	1,638	561	34.2
循環器系疾患	2,032	1,455	71.6
新生物	1,301	989	76.0
損傷、中毒、外因の影響	830	597	71.9
消化器疾患	624	459	73.6
神経系疾患	526	271	51.5
呼吸器系疾患	500	392	78.4
筋骨格系及び結合組織の疾患	514	345	67.1
内分泌、栄養及び代謝疾患	291	240	82.5
その他	1,281	825	64.4
合計	9,537	6,134	64.3

資料 厚生労働省「平成17年患者調査」





(5) 保健医療施設

① 病院・診療所・歯科診療所数

	施設数	人口10万対	
		阪神南圏域	全 県
病 院	52	5.1	6.3
一 般 診 療 所	1,017	100.1	85.8
歯 科 診 療 所	570	56.1	51.2

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

② 病床数

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病床数	既 存 病床数	うち、療 養病床	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数
阪神南圏域	8,650	8,657	2,420	—	796	—	60	—	8
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

基準病床数：平成18年4月改定新基準病床数

既存病床数資料 「兵庫県医務課調（平成19年4月1日現在）」

③ 主な標榜科別病院延べ数

		内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科
		病 院 数	49	12	29	22	16	12	10	43	41
人 口 10万対	圏域	4.8	1.2	2.9	2.2	1.6	1.2	1.0	4.2	4.0	1.8
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

		心臓血 管外科	産婦 人科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リハビリテ ーション科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科・ 口 腔 外 科
		実 数	6	9	15	10	18	16	36	39	17
人 口 10万対	圏域	0.6	0.9	1.5	1.0	1.8	1.6	3.5	3.8	1.7	1.9
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

④ 薬局数 (平成19年3月31日現在)

実数	人口10万対	
	阪神南圏域	全 県
430	41.9	41.8

資料「兵庫県薬務課調べ」

⑤ 訪問看護ステーション数 (平成19年3月31日現在)

実 数	人口10万対	
	阪神南圏域	全 県
65	6.3	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

(6) 保健医療従事者

① 医師 ※ ①～③の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

<医師数> (平成16年12月末現在)

	実 数	人口10万対	
		阪神南圏域	全 県
医 師	2,452	242.5	207.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

<主な診療科別医師数>

	内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科	
実数	672	18	85	60	144	76	27	219	170	60	
人口10万対	圏域	66.4	1.8	8.4	5.9	14.2	7.5	2.7	21.7	16.8	5.9
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

	心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	
実数	21	96	145	91	89	45	23	46	55	
人口10万対	圏域	2.1	9.5	14.3	9.0	8.8	4.4	2.3	4.5	5.4
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	1.4	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

② 歯科医師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		阪神南圏域	全県
歯科医師	673	66.5	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

③ 薬剤師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		阪神南圏域	全県
薬剤師数	2,320	229.4	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

④ 看護職員

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	阪神南圏域	全県
助産師	116	50	11	5	182	17.7	17.5
看護師	4,018	623	0	502	5,143	500.7	617.3
准看護師	958	767	0	200	1,925	187.4	248.2

	従事先					人口10万対	
	保健所	市	事業所	その他	合計	阪神南圏域	全県
保健師	27	107	3	9	146	14.2	22.1

資料 兵庫県「平成18年看護師等業務従事者届」

⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	205

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市町(市町栄養改善業務に従事)	市町における配置率(%)	
			阪神南圏域	全県
	19	15	100.0	92.7

資料 「行政栄養士等の調査」

⑥ 歯科衛生士 (平成18年12月末現在) (平成19年4月現在)

	業務従事者数	人口10万対	
		阪神南圏域	全県
歯科衛生士	599	58.4	63.7

資料 「業務従事者届」

行政従事 歯科衛生士数	実数
	10

(健康福祉事務所調べ)

2 圏域の重点的な取組

圏域で3項目以上選定し、2～5ページ程度で記載

(1) 項目名 (例：母子保健)

現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

目 標

(数値目標がある場合に記載)

(2) 項目名 (例：小児救急医療)

現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

目 標

(数値目標がある場合に記載)

(3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

目 標

(数値目標がある場合に記載)

# 阪神北保健医療圏域

## 1 圏域の概要

### (1) 地域の特徴

阪神北圏域は、兵庫県の南東部に位置し、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町の4市1町からなり、東は大阪府、西は神戸市、北は丹波、南は阪神南に面し、総面積 480.98 km<sup>2</sup>で、県土面積の 5.7%を占めている。

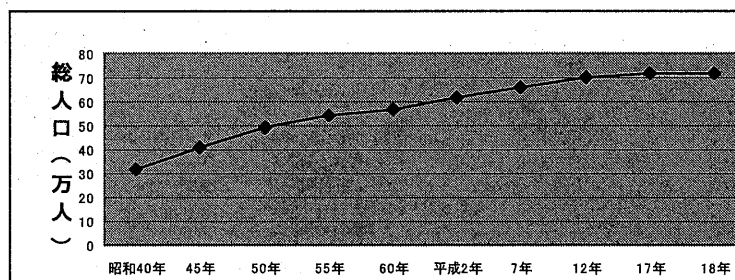
当圏域は、東西 34 km、南北 31 kmの地域で、長尾山系を挟んで、南部に大阪平野、北部に三田盆地が開けており、都市近郊には今なお、貴重な自然が多く残されている。

### (2) 人口

#### ① 人口推移

(単位：人)

年次	総人口
昭和 40 年	313,451
45 年	408,191
50 年	493,576
55 年	539,745
60 年	568,526
平成 2 年	615,367
7 年	658,923
12 年	699,789
17 年	716,394
18 年	714,401



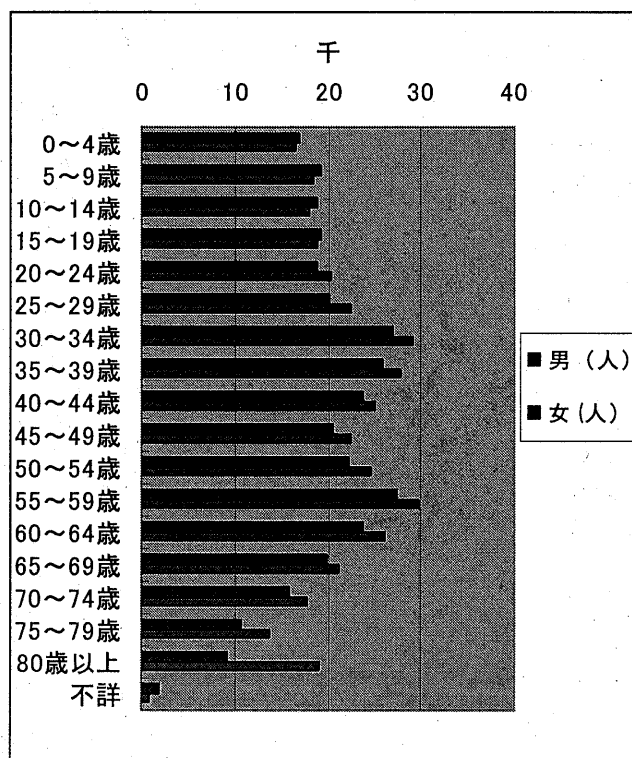
資料 総務省統計「国勢調査報告」

兵庫県推計人口 (平成 19 年 10 月)

#### ② 性別・年齢階級別人口

(平成 17 年) (単位：人)

区分	男	女
0～4 歳	16,938	16,463
5～9 歳	19,146	18,332
10～14 歳	18,910	18,004
15～19 歳	19,332	18,805
20～24 歳	18,899	20,265
25～29 歳	20,076	22,378
30～34 歳	26,984	29,155
35～39 歳	25,810	27,781
40～44 歳	23,838	25,123
45～49 歳	20,641	22,552
50～54 歳	22,351	24,561
55～59 歳	27,310	29,832
60～64 歳	23,759	25,995
65～69 歳	19,998	21,141
70～74 歳	15,778	17,654
75～79 歳	10,748	13,698
80 歳以上	9,222	19,024
不詳	1,961	909
合計	341,701	371,672



資料 総務省統計局「平成 17 年国勢調査報告」

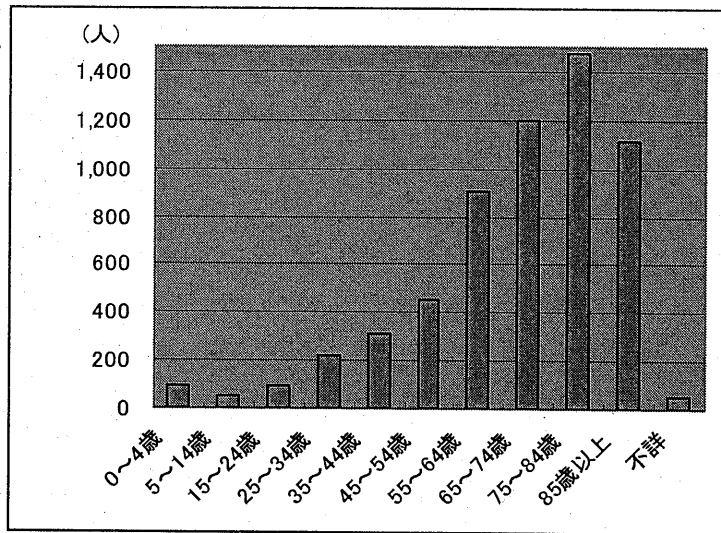


(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数

(平成 17 年) (単位:人)

区分	入院患者数
0~4 歳	93
5~14 歳	47
15~24 歳	96
25~34 歳	219
35~44 歳	306
45~54 歳	454
55~64 歳	903
65~74 歳	1,200
75~84 歳	1,478
85 歳以上	1,116
不詳	49
合計	5,961

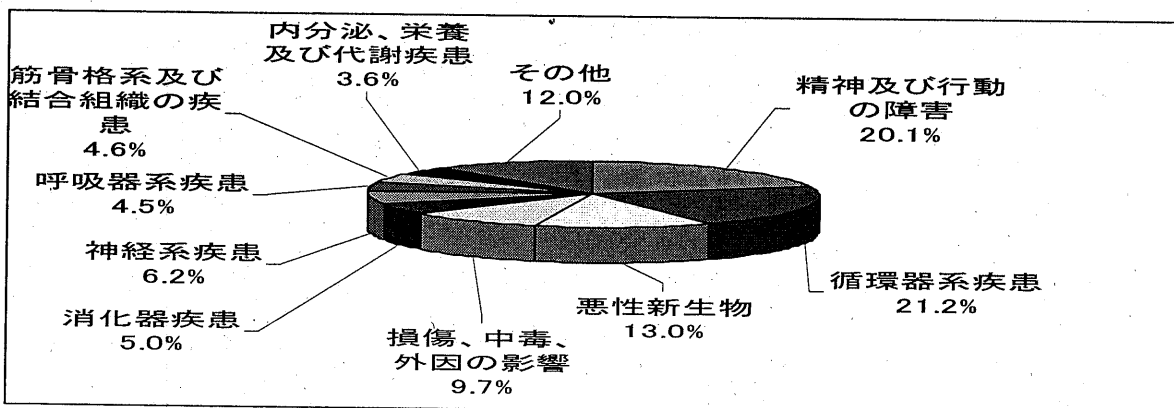


資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入院患者数 (人)	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	1,201	582	48.5
循環器系疾患	1,261	848	67.2
新生物	773	327	42.3
損傷、中毒、外因の影響	578	437	75.6
消化器疾患	298	225	75.5
神経系疾患	372	245	65.9
呼吸器系疾患	269	227	84.4
筋骨格系及び結合組織の疾患	276	170	61.6
内分泌、栄養及び代謝疾患	217	161	74.2
その他	716	448	62.6
合計	5,961	3,670	61.6

資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」



資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」



(5) 保健医療施設

① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成17年10月現在)

	施設数	人口10万対	
		阪神北圏域	全 県
病 院	33	4.6	6.3
一 般 診 療 所	537	75.0	85.8
歯 科 診 療 所	339	47.3	51.2

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

② 病床数

(平成19年4月1日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病床数	既 存 病床数	うち療 養病床	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数
阪神北圏域	6,580	6,561	2,546	—	1,582	—	148	—	0
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調べ」

③ 診療科別一般病院延べ数

(平成17年10月現在)

		内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科
		病 院 数	29	8	14	17	10	5	6	23	24
人 口 10 万 対	圏 域	4.0	1.1	2.0	2.4	1.4	0.7	0.8	3.2	3.4	2.0
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

		心臓血 管外科	産婦 人科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リハビリテ ーション科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科・ 口 腔 外 科
		実 数	3	7	10	7	14	13	23	24	12
人 口 10 万 対	圏 域	0.4	1.0	1.4	1.0	2.0	1.8	3.2	3.4	1.7	1.0
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

④ 薬局数

(平成19年3月31日現在)

実数	人口10万対	
	阪神北圏域	全 県
226		

資料「兵庫県薬務課調べ」

⑤ 訪問看護ステーション数

(平成19年3月31日現在)

実 数	人口10万対	
	阪神北圏域	全 県
44	6.2	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

(6) 保健医療従事者

① 医師

※ ①～③の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

<医師数>

(平成16年12月末現在)

	実 数	人口10万対	
		阪神北圏域	全 県
医 師	1,149	161.0	207.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

<主な診療科別医師数>

	内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科	
実数	365	11	26	36	71	33	13	118	84	23	
人口10万対	圏域	51.1	1.5	3.6	5.0	9.9	4.6	1.8	16.5	11.8	3.2
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

	心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
実数	4	44	66	49	43	31	9	16	20
人口10万対	圏域	0.6	6.2	9.2	6.9	6.0	1.3	2.2	2.8
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

② 歯科医師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		阪神北圏域	全県
歯科医師	430	60.3	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

③ 薬剤師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		阪神北圏域	全県
薬剤師数	1,419	198.8	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

④ 看護職員 (平成16年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	阪神北圏域	全県
助産師	81	23	15	7	126	17.6	17.5
看護師	2,791	607		680	4,078	569.7	617.3
准看護師	764	505		336	1,605	224.2	248.2

	従事先				人口10万対		
	保健所	市	事業所	その他	合計	阪神北圏域	全県
保健師	30	69	1	9	109	15.2	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	147

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市町(市町栄養改善業務に従事)	市町における配置率(%)	
			阪神北圏域	全県
	8	13	100.0	92.7

資料 「行政栄養士等の調査」

⑥ 歯科衛生士 (平成18年12月末現在) (平成19年4月現在)

	業務従事者数	人口10万対	
		阪神北圏域	全県
歯科衛生士	458	64.1	63.7

資料 「平成18年業務従事者届」

行政従事 歯科衛生士数	実数
	3

(健康福祉事務所調べ)



## 2 圏域の重点的な取組

圏域で3～5項目程度選定し、2～5ページ程度で記載

### (1) 項目名 (例：母子保健)

現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (2) 項目名 (例：小児救急医療)

現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

目 標

(数値目標がある場合に記載)

# 東播磨保健医療圏域

## 1 圏域の概要

### (1) 地域の特徴

東播磨地域は、明石市、加古川市、高砂市、加古郡稲美町及び播磨町の3市2町からなり、兵庫県南部の中央域に位置し、東は神戸市、西は姫路市、南は瀬戸内海、北は三木市、小野市、加西市に接している。

管内の総面積は266.20Km<sup>2</sup>で、県総面積の3.2%を占めている。

管内東部には日本の標準時を定める子午線(東経135度)が通り、中央部には県下最大の河川「加古川」が貫流し、流域には播州平野が広がっている。

南部は播磨工業地帯の中央にあり、工業が盛んな地域である。また、かつての白砂青松の面影をとどめる「高砂海浜公園」など、河川、ため池、海岸と水辺空間に恵まれた地域である。

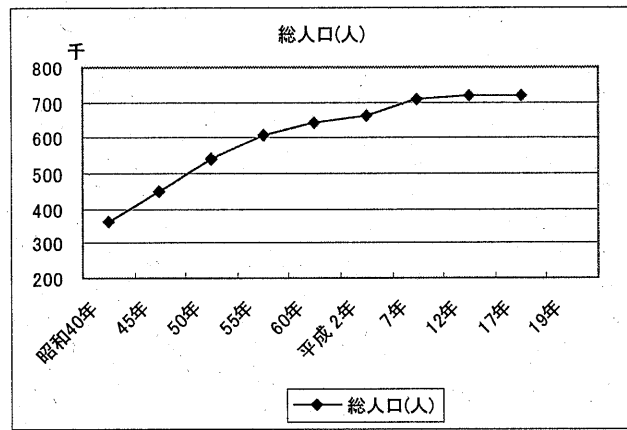
さらに、県下最大規模の「加古大池」をはじめとする多くのため池が点在する地域である。

管内には、山陽自動車道が北部を通過しており、加古川北インターチェンジがある。また、JR線の山陽新幹線、山陽本線、加古川線、山陽電鉄本線などの鉄道が整備されている。

(2) 人口

① 人口推移 (単位: 人)

年次	総人口
昭和 40 年	364, 772
45 年	450, 025
50 年	538, 701
55 年	606, 701
60 年	641, 444
平成 2 年	665, 214
7 年	710, 765
12 年	721, 127
17 年	718, 608
19 年	

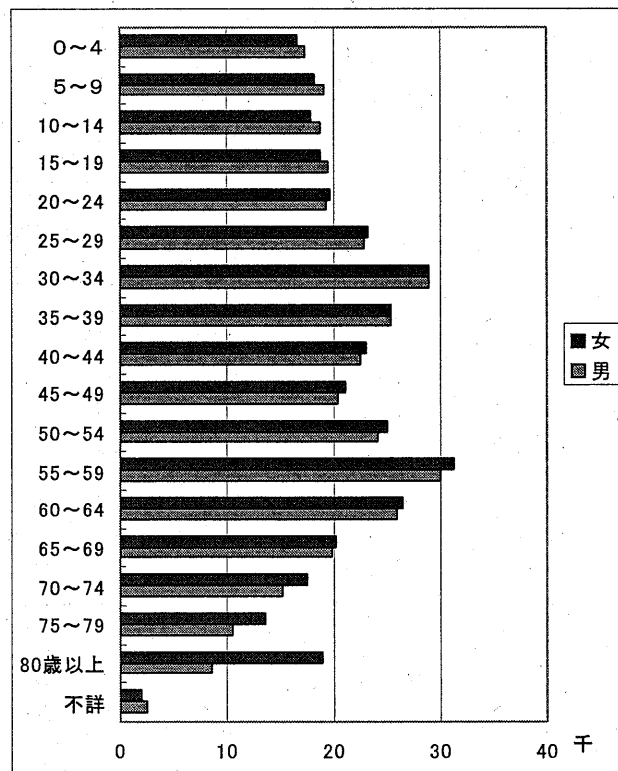


資料 総務省統計局「国勢調査報告」  
兵庫県推計人口 (平成 19 年 10 月)

② 性別・年齢階級別人口

(平成 17 年) (単位: 人)

区分	男	女
0~4 歳	17, 348	16, 646
5~9 歳	19, 169	18, 218
10~14 歳	18, 736	17, 884
15~19 歳	19, 493	18, 755
20~24 歳	19, 282	19, 678
25~29 歳	22, 790	23, 253
30~34 歳	28, 903	29, 001
35~39 歳	25, 300	25, 423
40~44 歳	22, 459	23, 106
45~49 歳	20, 415	21, 143
50~54 歳	24, 182	25, 019
55~59 歳	29, 932	31, 218
60~64 歳	25, 937	26, 366
65~69 歳	19, 847	20, 215
70~74 歳	15, 167	17, 477
75~79 歳	10, 616	13, 558
80 歳以上	8, 561	18, 872
不詳	2, 442	2, 018
合計	350, 579	367, 850



資料 総務省統計局「平成 17 年国勢調査報告」

(3) 人口動態

① 人口動態の推移

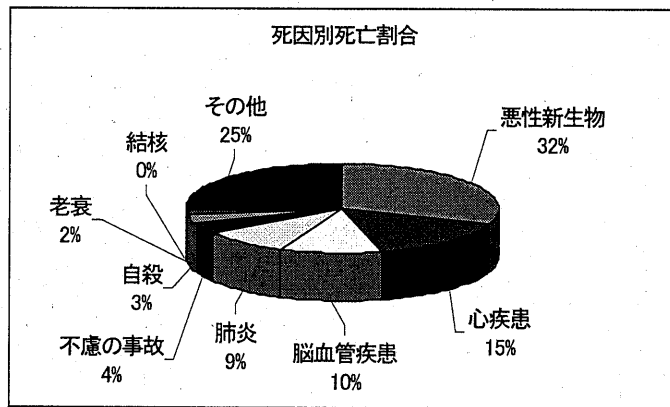
年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8年	7,871	11.0	4,425	6.2	50	6.3
10年	8,009	11.0	4,745	6.5	34	4.2
12年	7,637	10.6	4,725	6.6	42	5.5
14年	7,199	10.0	4,851	6.7	25	3.5
16年	6,556	9.1	5,053	7.0	17	2.6
17年	6,251	8.7	5,465	7.6	31	4.9
(全県17年)	47,273	8.6	46,657	8.5	228	4.8

資料 厚生労働省「人口動態統計」

※(3)①の平成17年の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

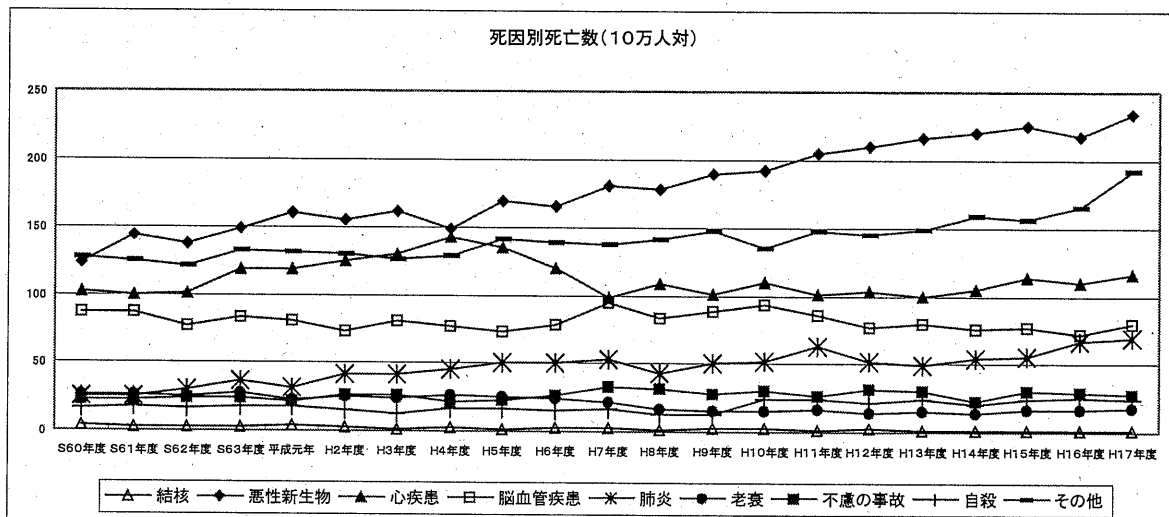
② 死因別死亡割合(平成17年)(単位:人)

死因	死亡数
悪性新生物	1,677
心疾患	831
脳血管疾患	572
肺炎	499
不慮の事故	199
自殺	170
老衰	125
結核	13
その他	1,379
計	5,465



資料 厚生労働省「平成17年人口動態統計」

③ 主な死因別死亡率の推移



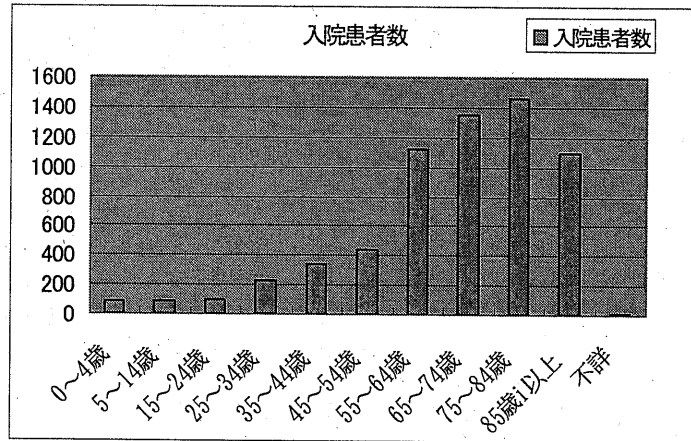
資料 厚生労働省「人口動態統計」

(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数

(平成 17 年) (単位: 人)

区分	入院患者数
0~4 歳	94
5~14 歳	87
15~24 歳	96
25~34 歳	224
35~44 歳	337
45~54 歳	438
55~64 歳	1,117
65~74 歳	1,348
75~84 歳	1,460
85 歳以上	1,099
不詳	17
合計	6,317

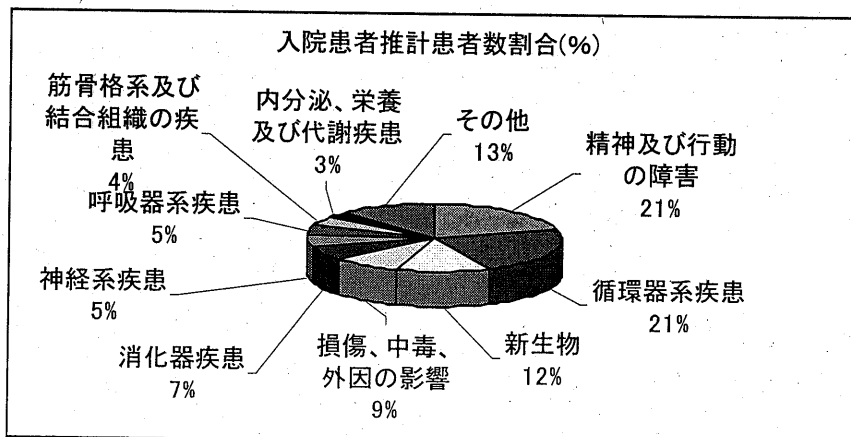


資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入院患者数 (人)	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	1,302	1007	77.3
循環器系疾患	1,407	1220	86.7
新生物	747	569	76.2
損傷、中毒、外因の影響	551	468	84.9
消化器疾患	411	357	86.9
神経系疾患	326	200	61.3
呼吸器系疾患	328	269	82.0
筋骨格系及び結合組織の疾患	254	201	79.1
内分泌、栄養及び代謝疾患	193	173	89.6
その他	789	477	60.5
合計	6,317	4942	78.2

資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」



資料 厚生労働省「平成17年患者調査」

## (5) 保健医療施設

## ① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成17年10月現在)

	施設数	人口10万対	
		東播磨圏域	全 県
病 院	40	5.6	6.3
一 般 診 療 所	514	71.5	85.8
歯 科 診 療 所	331	46.1	51.2

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

## ② 病床数

(平成19年4月1日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病床数	既 存 病床数	うち、療 養病床	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数
東播磨圏域	5,900	6,290	1,600	—	1,491	—	0	—	6
全 県	50,849	53,071	15,372	11,151	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調査」

## ③ 診療科別一般病院延べ数

(平成17年10月現在)

		内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科
		病 院 数	32	9	28	21	11	8	3	31	29
人 口 10万対	圏域	4.5	1.3	3.9	2.9	1.5	1.1	0.4	4.3	4.0	2.4
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

		心臓血 管外科	産婦 人科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リハビリテ ーション科	放 射 線 科	麻 醉 科	歯 科・ 口 腔 外 科
		実 数	2	10	12	8	10	10	29	28	20
人 口 10万対	圏域	0.3	1.4	1.7	1.1	1.4	1.4	4.0	3.9	2.8	0.7
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

## ④ 薬局数

(平成19年3月31日現在)

実数	人口10万対	
	東播磨圏域	全 県
298	41.5	41.8

資料「兵庫県薬務課調査」

## ⑤ 訪問看護ステーション数 (平成19年3月31日現在)

実 数	人口10万対	
	東播磨圏域	全 県
42	5.9	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調査」

## (6) 保健医療従事者

## ① 医師

※ ①～③の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

<医師数> (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		東播磨圏域	全県
医師	1,147	159.4	207.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

<主な診療科別医師数>

		内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科
実数		306	7	43	29	68	49	3	138	97	28
人口10万対	圏域	42.5	1.0	6.0	4.0	9.4	6.8	0.4	19.2	13.5	3.9
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

		心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
実数		3	56	61	44	37	28	6	25	16
人口10万対	圏域	0.4	7.8	8.5	6.1	5.1	3.9	0.8	3.5	2.2
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	1.4	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

② 歯科医師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		東播磨圏域	全県
歯科医師	414	57.5	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

③ 薬剤師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		東播磨圏域	全県
薬剤師数	1,312	182.3	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

④ 看護職員 (平成18年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	東播磨圏域	全県
助産師	65	9	1	12	87	12.1	17.5
看護師	2,886	578	—	519	3,983	554.7	617.7
准看護師	943	772	—	334	2,049	285.4	248.3
	従事先					人口10万対	
	保健所	市	事業所	その他	合計	東播磨圏域	全県
保健師	28	104	9	23	164	22.8	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	191

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市町(市町栄養改善 業務に従事)	市町における配置率(%)	
			東播磨圏域	全 県
	7	5	60	92.7

資料 「行政栄養士等の調査」

⑥ 歯科衛生士 (平成18年12月末現在)

(平成19年4月現在)

	業 務 従事者数	人口10万対	
		東播磨圏域	全 県
歯科衛生士	545	75.9	63.7

資料 「平成18年業務従事者届」

行政従事 歯科衛生士数	実 数
	1

(健康福祉事務所調査)



# 北播磨保健医療圏域

## 1 圏域の概要

### (1) 地域の特徴

西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町の5市1町からなる北播磨圏域は、県のはほぼ中央に位置しており、総面積は895.56km<sup>2</sup>で、県土の10.7%を占めている。県下最大の河川加古川が、地域の中央部を貫流し、流域には播州平野が広がっている。

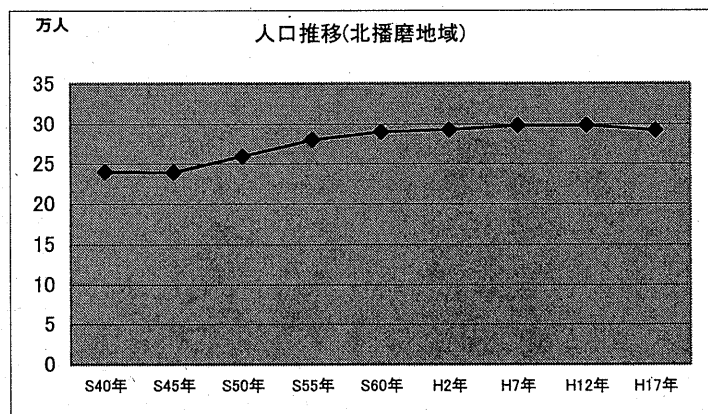
道路は、東西に中国自動車道と山陽自動車道が通過し、南北には舞鶴自動車道とのジャンクションが設置されているほか、山陽自動車道を経由して神戸淡路鳴門自動車道とも連絡しており、県内各地域との道路網も整備されている。

### (2) 人口

#### ① 人口推移

(単位：人)

年次	総人口
昭和40年	240,051
45年	239,443
50年	259,327
55年	279,672
60年	289,898
平成2年	292,471
7年	298,004
12年	298,390
17年	293,065
19年	

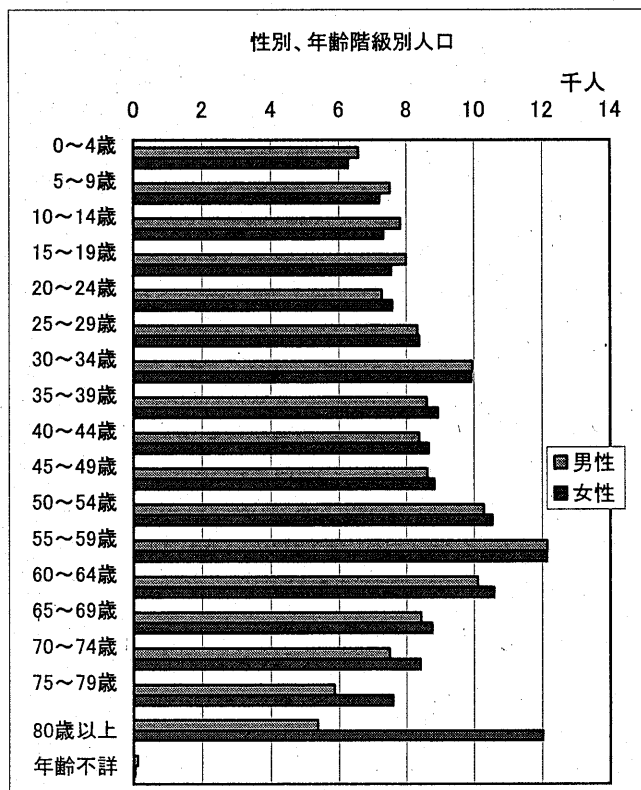


資料 総務省統計局「国勢調査報告」  
兵庫県推計人口(平成19年10月)

#### ② 性別・年齢階級別人口

(平成17年) (単位：人)

区分	男	女
0~4歳	6,583	6,283
5~9歳	7,517	7,208
10~14歳	7,823	7,317
15~19歳	7,999	7,552
20~24歳	7,271	7,585
25~29歳	8,331	8,390
30~34歳	9,953	9,923
35~39歳	8,608	8,937
40~44歳	8,379	8,659
45~49歳	8,622	8,829
50~54歳	10,284	10,541
55~59歳	12,147	12,141
60~64歳	10,113	10,585
65~69歳	8,434	8,762
70~74歳	7,498	8,420
75~79歳	5,871	7,604
80歳以上	5,380	12,024
不詳	123	49
合計	140,936	150,809



資料 総務省統計局「平成17年国勢調査報告」

(3) 人口動態

① 人口動態の推移

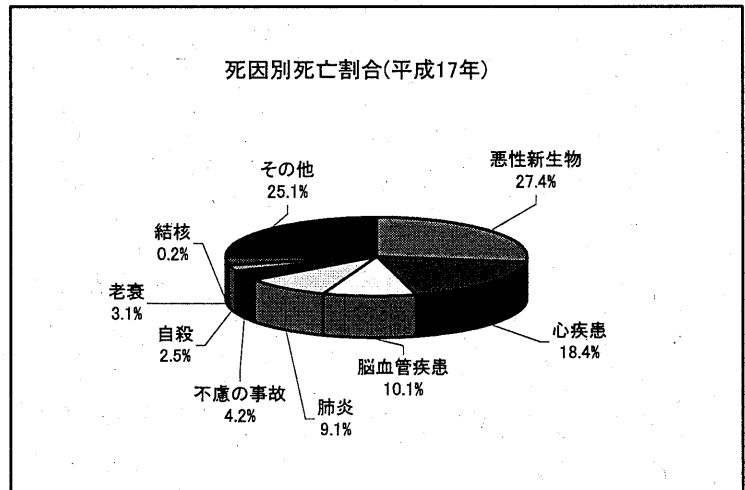
年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8年	2,879	9.6	2,401	8.0	77	4.5
10年	2,799	9.3	2,525	8.4	75	5.7
12年	2,823	9.5	2,437	8.2	86	4.2
14年	2,665	9.0	2,367	8.0	68	4.9
16年	2,540	8.6	2,543	8.6	68	3.9
17年	2,293	7.8	2,687	9.2	61	5.2
(全県17年)	47,273	8.6	46,657	8.5	1,296	4.8

資料 厚生労働省「人口動態統計」

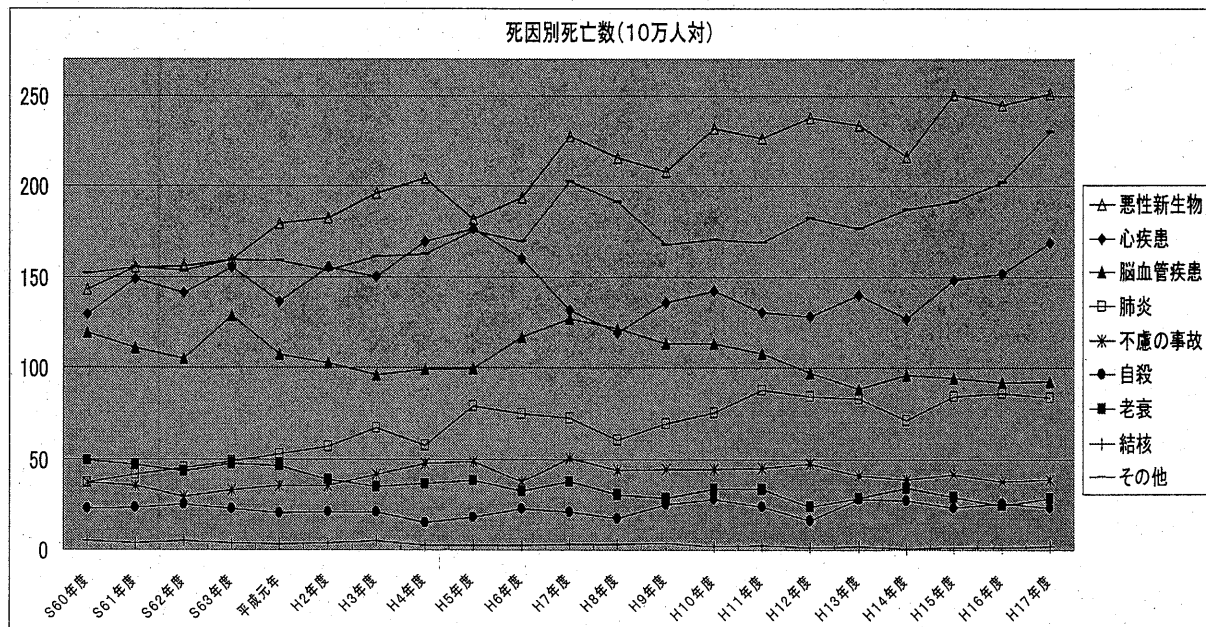
② 死因別死亡割合

(平成17年) (単位:人)

死因	死亡数
悪性新生物	735
心疾患	494
脳血管疾患	271
肺炎	244
不慮の事故	112
自殺	68
老衰	83
結核	6
その他	674
計	2,687



③ 主な死因別死亡率の推移

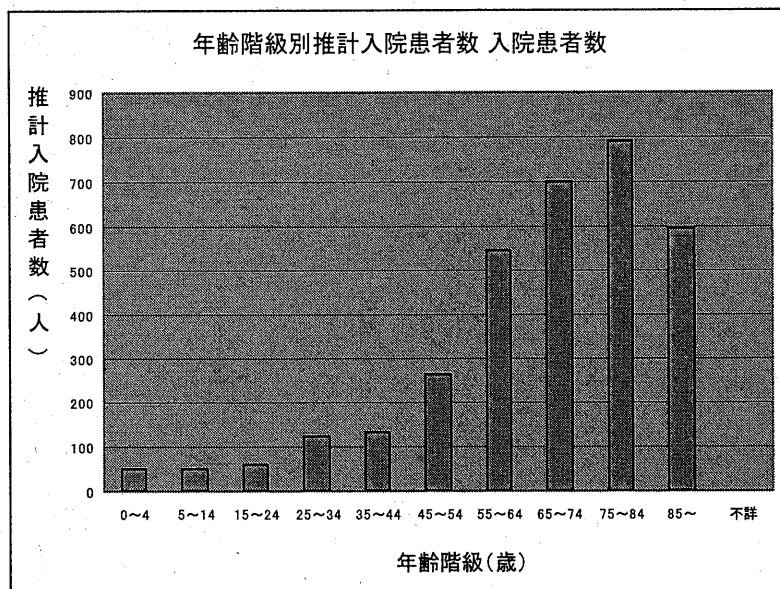


## (4) 受療動向

## ① 年齢階級別推計入院患者数

(平成 17 年) (単位:人)

区分	入院患者数
0～4歳	49
5～14歳	52
15～24歳	60
25～34歳	125
35～44歳	132
45～54歳	262
55～64歳	545
65～74歳	699
75～84歳	791
85歳以上	594
不詳	2
合計	3,312

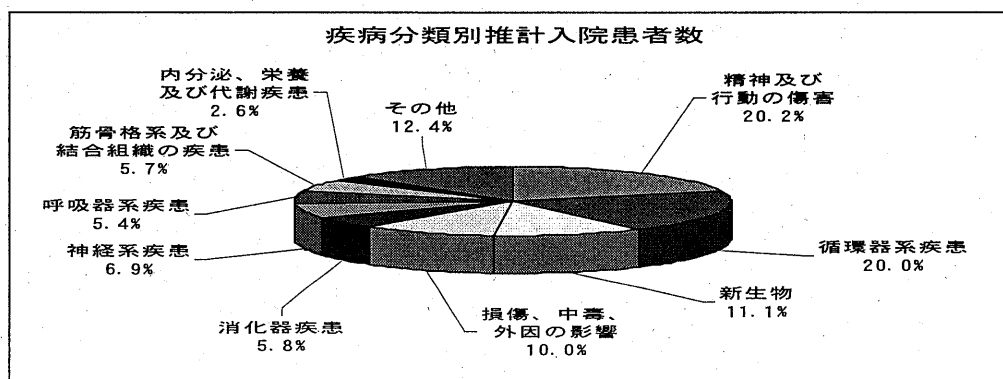


資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

## ② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入 院患者数 (人)	圏域内への入院 割合 (%)
精神及び行動の障害	669	485	72.5
循環器系疾患	663	598	90.2
新生物	367	230	62.7
損傷、中毒、外因の影響	330	288	87.3
消化器疾患	191	168	88.0
神経系疾患	227	174	76.7
呼吸器系疾患	180	162	90.0
筋骨格系及び結合組織の疾患	188	142	75.5
内分泌、栄養及び代謝疾患	86	73	84.9
その他	411	283	68.9
合計	3,312	2,603	78.6

資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」



資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

## (5) 保健医療施設

## ① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成 17 年 10 月現在)

	施設数	人口 10 万対	
		北播磨圏域	全 県
病 院	21	7.2	6.3
一 般 診 療 所	205	70.0	85.8
歯 科 診 療 所	130	44.4	51.2

資料 厚生労働省「平成 17 年医療施設調査」

## ② 病床数

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	うち、療 養 病 床	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数
北播磨圏域	3,373	3,372	1,204	—	847	—	50	—	6
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調べ」

## ③ 診療科別一般病院延べ数

(平成 17 年 10 月現在)

	内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科	
	病 院 数	19	6	10	10	8	6	7	11	15	2
人 口 10 万 対	圏 域	6.5	2.0	3.4	3.4	2.7	2.0	2.4	3.8	5.1	0.7
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

	心 臓 血 管 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科・ 口 腔 外 科	
	実 数	1	4	6	6	6	8	16	10	4	4
人 口 10 万 対	圏 域	0.3	1.4	2.0	2.0	2.0	2.7	5.5	3.4	1.4	1.4
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成 17 年医療施設調査」

## ④ 薬局数

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

実数	人口 10 万対	
	北播磨圏域	全 県
123	42.6	41.9

資料「兵庫県業務課調べ」

## ⑤ 訪問看護ステーション数 (平成 19 年 3 月 31 日現在)

実 数	人口 10 万対	
	北播磨圏域	全 県
12	4.2	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

## (6) 保健医療従事者

## ① 医師

&lt;医師数&gt;

(平成 16 年 12 月末現在)

	実 数	人口 10 万対	
		北播磨圏域	全 県
医 師	492	167.1	207.1

資料 厚生労働省「平成 16 年医師、歯科医師、薬剤師調査」

&lt;主な診療科別医師数&gt;

		内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科
実数		161	3	18	17	26	23	3	56	47	8
人口 10万対	圏域	54.7	1.0	6.1	5.8	8.8	7.8	1.0	19.0	16.0	2.7
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

		心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
実数		3	20	22	17	15	11	4	9	6
人口 10万対	圏域	1.0	6.8	7.5	5.8	5.1	3.7	1.4	3.1	2.0
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	1.4	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

## ② 歯科医師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		北播磨圏域	全県
歯科医師	156	53.0	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

## ③ 薬剤師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		北播磨圏域	全県
薬剤師数	476	161.6	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

## ④ 看護職員 (平成16年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	北播磨圏域	全県
助産師	10	18	1	1	30	10.4	17.5
看護師	1,544	203		250	1,997	689.2	617.4
准看護師	511	218		178	907	313.0	248.2
	従事先					人口10万対	
	保健所	市	事業所	その他	合計	北播磨圏域	全県
保健師	22	84	3	4	113	39.0	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

## ⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	46

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市町(市町栄養改善業務に従事)	市町における配置率(%)	
			北播磨圏域	全県
	3	10	100	

資料 「行政栄養士等の調査」

## ⑥ 歯科衛生士 (平成18年12月末現在)

	業務従事者数	人口10万対	
		北播磨圏域	全県
歯科衛生士	142	49.0	63.8

資料 「平成18年業務従事者届」

## (平成19年4月現在)

行政従事 歯科衛生士数	実数
	1

(健康福祉事務所調べ)

## 2 圏域の重点的な取組

圏域で3～5項目程度選定し、2～5ページ程度で記載

### (1) 項目名 (例：母子保健)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (2) 項目名 (例：小児救急医療)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)



# 中播磨保健医療圏域

## 1 圏域の概要

### (1) 地域の特性

当圏域は兵庫県南西部に位置し、中国山地を形成する北部の山岳高原地域から、南部の瀬戸内海に面した播州平野と家島諸島までを含む総面積 865.06 平方キロメートルの地域である。

中核市である姫路市と神崎郡 3 町の神河町、市川町、福崎町とで構成されており、人口約 583 千人、県総人口の約 10.4% を占めているが、このうち約 90% が姫路市に集中している。

平成 12 年 5 月に全線開通（姫路 JCT～和田山 IC 間）した播但連絡道路を幹線に、国道 29 号・312 号が圏域内の南北を結ぶ主要道路となっている。東西には中国自動車道、山陽自動車道、国道 2 号・250 号・372 号などが走っており、鉄道では J R 山陽新幹線、J R 山陽本線が東西に通じ、山陽電鉄本線が姫路から神戸へと伸び、J R 播但線・姫新線は都市部と山間部を結んでいる。このうち J R 播但線の姫路・寺前間は、平成 10 年 3 月の電化・高速化により、所要時間の短縮等利便性の向上が図られた。特定重要港湾である姫路港については、播磨地域の中心物流拠点にふさわしい国際港湾として、国内・外国貿易に利用されており、コンテナ需要にも対応できる多目的クレーンも公共ふ頭に整備されている。

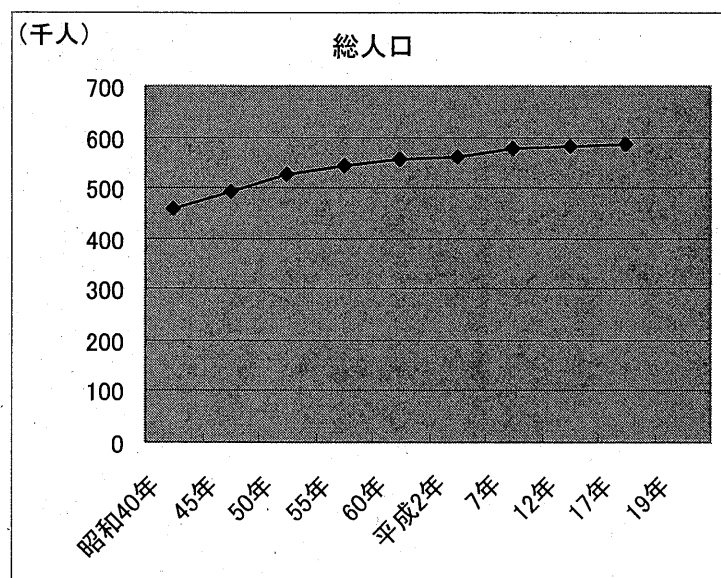
臨海部は鉄鋼・化学などの素材産業と電気機械・一般機械などの加工組立型の製造業を中心に発展し、全国有数の工業地帯を形成している。内陸部では高速道路沿いの工業団地を中心に電気機械、一般機械等の企業が立地している。

### (2) 人口

#### ① 人口推移

(単位：人)

年次	総人口
昭和 40 年	459,172
45 年	493,648
50 年	526,395
55 年	542,545
60 年	554,507
平成 2 年	558,639
7 年	576,597
12 年	582,863
17 年	584,128
19 年	

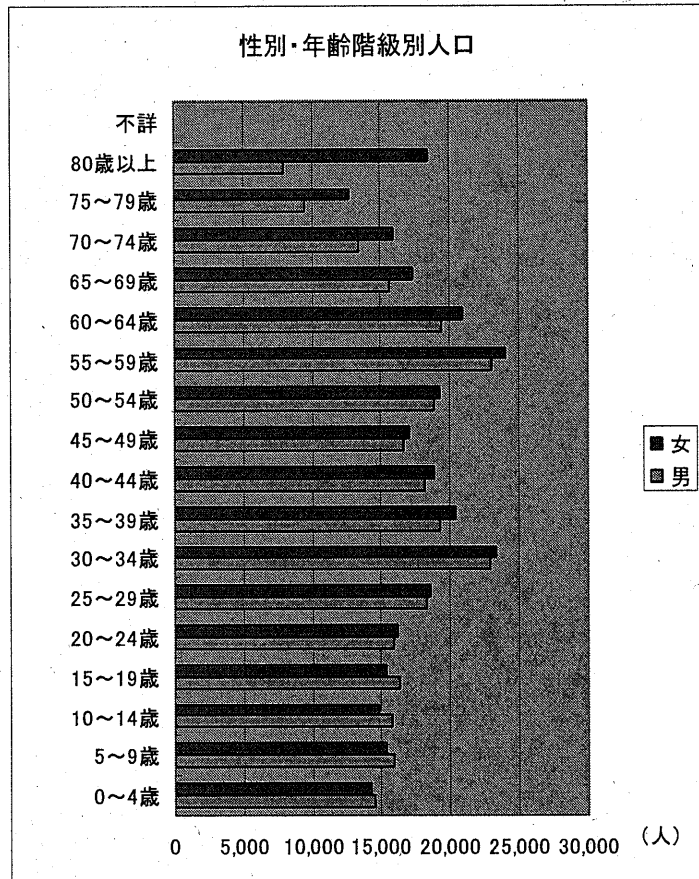


資料 総務省統計局「国勢調査報告」  
兵庫県推計人口（平成 19 年 10 月）

② 性別・年齢階級別人口

(平成 17 年) (単位: 人)

区分	男	女
0～4 歳	14, 577	14, 164
5～9 歳	15, 961	15, 362
10～14 歳	15, 712	14, 825
15～19 歳	16, 273	15, 309
20～24 歳	15, 869	16, 209
25～29 歳	18, 282	18, 588
30～34 歳	22, 890	23, 298
35～39 歳	19, 300	20, 347
40～44 歳	18, 090	18, 832
45～49 歳	16, 650	17, 060
50～54 歳	18, 905	19, 287
55～59 歳	22, 974	23, 948
60～64 歳	19, 438	20, 925
65～69 歳	15, 612	17, 304
70～74 歳	13, 333	15, 893
75～79 歳	9, 536	12, 741
80 歳以上	7, 964	18, 472
不詳	135	63
合計	281, 501	302, 627



資料 総務省統計局「平成 17 年国勢調査報告」

(3) 人口動態

① 人口動態の推移

年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8 年	6, 423	11. 1	4, 163	7. 2	40	6. 2
1 0 年	6, 558	11. 3	4, 391	7. 5	32	4. 9
1 2 年	6, 423	11. 0	4, 499	7. 7	47	7. 3
1 4 年	6, 007	10. 3	4, 474	7. 7	35	5. 8
1 6 年	5, 605	9. 6	4, 849	8. 3	22	3. 9
1 7 年	5, 269	9. 0	4, 954	8. 5	29	5. 5
(全県 1 7 年)	47, 273	8. 6	46, 657	8. 5	228	4. 8

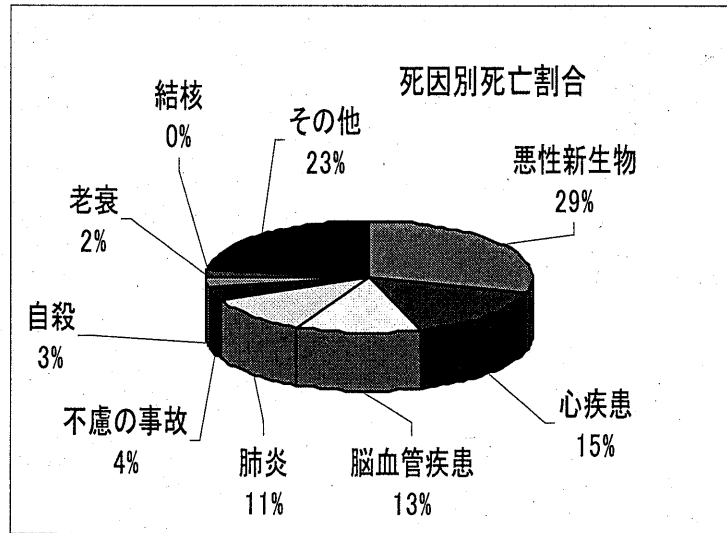
資料 厚生労働省「人口動態統計」



② 死因別死亡割合

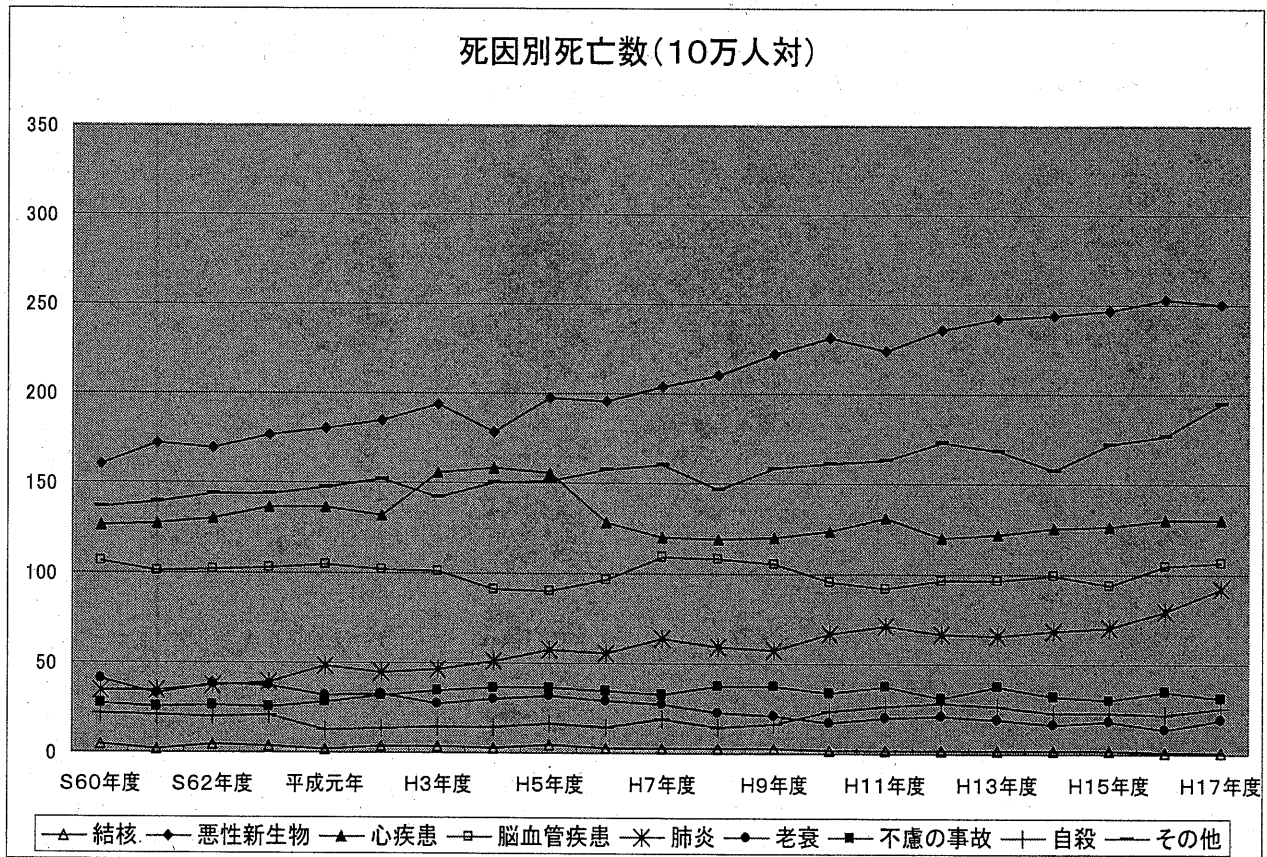
(平成 17 年) (単位：人)

死因	死亡数
悪性新生物	1,459
心疾患	756
脳血管疾患	621
肺炎	536
不慮の事故	181
自殺	147
老衰	114
結核	5
その他	1,135
計	4,954



「平成 17 年人口動態統計」

③ 主な死因別死亡率の推移

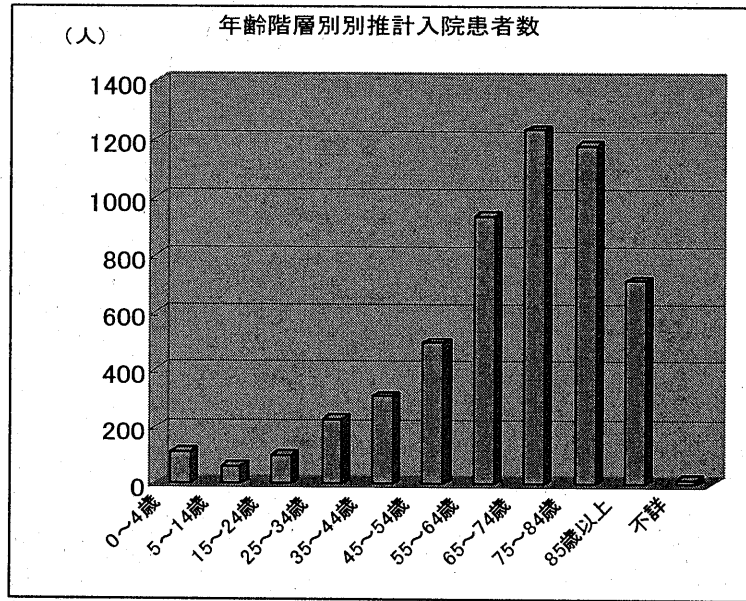


(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数

(平成 17 年) (単位: 人)

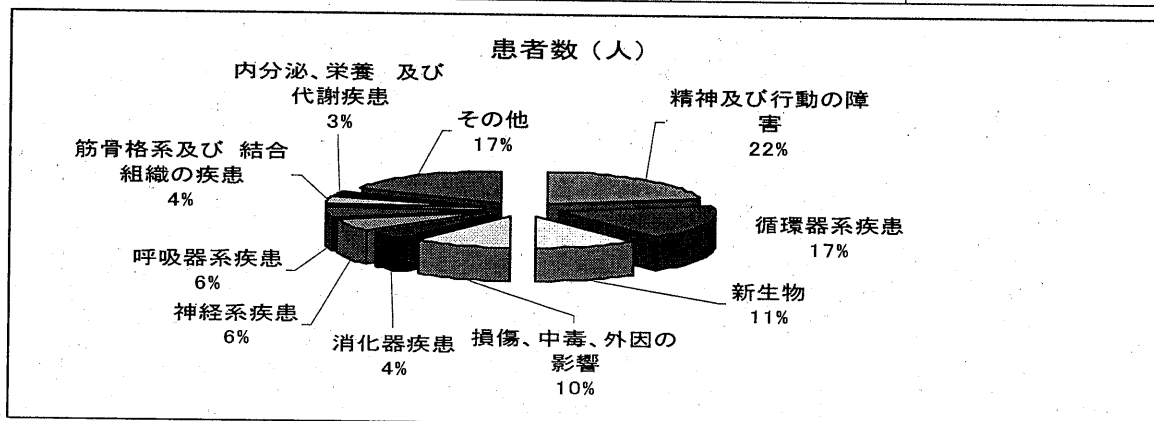
区分	入院患者数
0~4 歳	113
5~14 歳	60
15~24 歳	100
25~34 歳	226
35~44 歳	307
45~54 歳	495
55~64 歳	935
65~74 歳	1,235
75~84 歳	1,178
85 歳以上	713
不詳	16
合計	5,376



資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入院患者数 (人)	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	1,184	890	75.2
循環器系疾患	927	804	86.7
新生物	582	490	84.2
損傷、中毒、外因の影響	519	458	88.2
消化器疾患	223	210	94.2
神経系疾患	328	180	54.9
呼吸器系疾患	302	269	89.1
筋骨格系及び結合組織の疾患	195	147	75.4
内分泌、栄養及び代謝疾患	181	165	91.2
その他	935	735	78.6
合計	5,376	4,348	80.9



資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

(5) 保健医療施設

① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成 17 年 10 月現在)

	施設数	人口 10 万対	
		中播磨圏域	全 県
病 院	41	7.0	6.3
一 般 診 療 所	432	74.0	85.8
歯 科 診 療 所	291	49.9	51.2

資料 厚生労働省「平成 17 年医療施設調査」

② 病床数

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基準 病床数	既 存 病床数	うち、療 養病床	基準 病床数	既 存 病床数	基準 病床数	既 存 病床数	基準 病床数	既 存 病床数
中播磨圏域	5,247	5,636	1,477	—	1,311	—	0	—	6
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調べ」

③ 診療科別一般病院延べ数

(平成 17 年 10 月現在)

		内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科
		病 院 数	34	12	24	19	8	8	9	23	23
人 口 10 万 対	圏 域	5.8	2.1	4.1	3.3	1.4	1.4	1.5	3.9	3.9	1.9
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

		心臓血 管外科	産婦 人科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リハビリテ ーション科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科・ 口 腔 外 科
		実 数	4	4	13	7	9	8	31	22	14
人 口 10 万 対	圏 域	0.7	0.7	2.2	1.2	1.5	1.4	5.3	3.8	2.4	1.0
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成 17 年医療施設調査」

④ 薬局数

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

実数	人口 10 万対	
	中播磨圏域	全 県
229	39.3	41.9

資料「兵庫県業務課調べ」

⑤ 訪問看護ステーション数

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

実 数	人口 10 万対	
	中播磨圏域	全 県
28	4.8	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

(6) 保健医療従事者

① 医師

<医師数>

(平成 16 年 12 月末現在)

	実 数	人口 10 万対	
		中播磨圏域	全 県
医 師	1,035	177.2	207.1

資料 厚生労働省「平成 16 年医師、歯科医師、薬剤師調査」

<主な診療科別医師数>

		内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科
実数		284	5	28	44	55	44	17	107	80	34
人口10万対	圏域	48.6	0.9	4.8	7.5	9.4	7.5	2.9	18.3	13.7	5.8
	全県	57.9	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

		心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
実数		12	37	54	40	24	20	9	26	26
人口10万対	圏域	2.1	6.3	9.2	6.8	4.1	3.4	1.5	4.5	4.5
	全県	1.7	7.9	11.1	7.3	6.2	4.5	1.4	4.1	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

② 歯科医師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		中播磨圏域	全県
歯科医師	381	65.2	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

③ 薬剤師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		中播磨圏域	全県
薬剤師数	927	158.7	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

④ 看護職員 (平成16年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	中播磨圏域	全県
助産師	66	19	3	1	89	15.2	17.5
看護師	2,949	524	0	465	3,938	674.5	617.3
准看護師	747	606	0	249	1,602	274.4	248.2
	従事先					人口10万対	
	保健所	市町	事業所	その他	合計	中播磨圏域	全県
保健師	16	72	1	10	99	17.0	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	96

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市町(市町栄養改善業務に従事)	市町における配置率(%)	
			中播磨圏域	全県
	7	7	100	92.7

資料 「行政栄養士等の調査」

⑥ 歯科衛生士 (平成18年12月末現在)

	業務従事者数	人口10万対	
		中播磨圏域	全県
歯科衛生士	404	69.2	63.6

資料 「平成18年業務従事者届」

(平成19年4月現在)

行政従事 歯科衛生士数	実数
	2

(健康福祉事務所調べ)

## 2 圏域の重点的な取組

圏域で3～5項目程度選定し、2～5ページ程度で記載

### (1) 項目名 (例：母子保健)

#### 現状と課題

(簡条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(簡条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (2) 項目名 (例：小児救急医療)

#### 現状と課題

(簡条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(簡条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

#### 現状と課題

(簡条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(簡条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

## 西播磨保健医療圏域

### 1 圏域の概要

#### (1) 地域の特徴

西播磨地域は、東西 43 km、南北 67 km、総面積 1,567.24 km<sup>2</sup>で、県土の 18.7%を占め、4市3町（相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町）で構成されている。

県南西部にあって北は但馬、南は瀬戸内海、西は岡山県、鳥取県、東は中播磨地域に隣接している。

中国山地の東端部に属する西播磨山地を源に発する揖保川、千種川がその流域を拓きつつ瀬戸内海に注ぐ自然豊かな地域であり、管内に瀬戸内海国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園と三つの県立自然公園を擁している。北中部には、優れた景観を有する森林や農地が広がり、南部の瀬戸内臨海部には、良好な海岸美の中に臨海工業地帯が形成されて、中心部の山間には、播磨科学公園都市を配している。

交通は、東西に中国自動車道、山陽自動車道の2本の高規格幹線道路と国道2号、250号が通り、南北には山陽自動車道から播磨科学公園都市へ通じる播磨道と国道29号、179号、312号があり、その他主要地方道とともに各市町間をつないでいる。

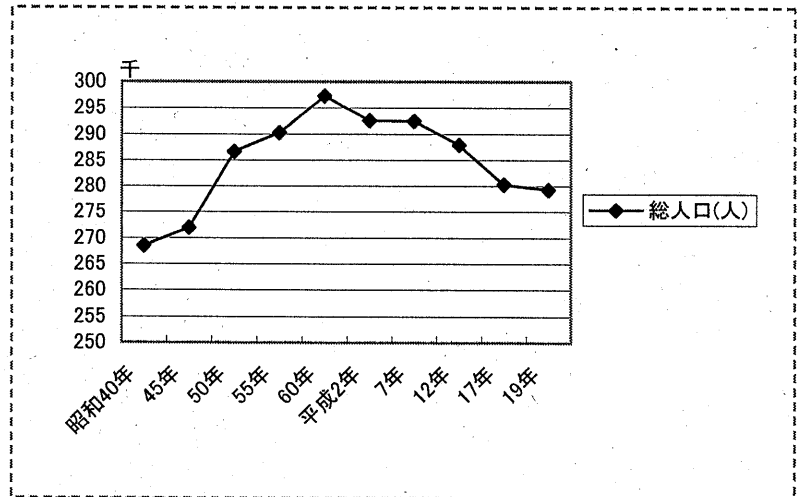
さらに、臨海部をJR山陽本線、JR山陽新幹線、JR赤穂線が東西に通じており、JR姫新線と智頭急行智頭線が、臨海部と内陸部を結んでいる。

(2) 人口

① 人口推移

(単位：人)

年次	総人口
昭和40年	268,467
45年	271,984
50年	286,544
55年	290,137
60年	297,235
平成2年	292,586
7年	292,469
12年	287,780
17年	280,302
19年	279,297

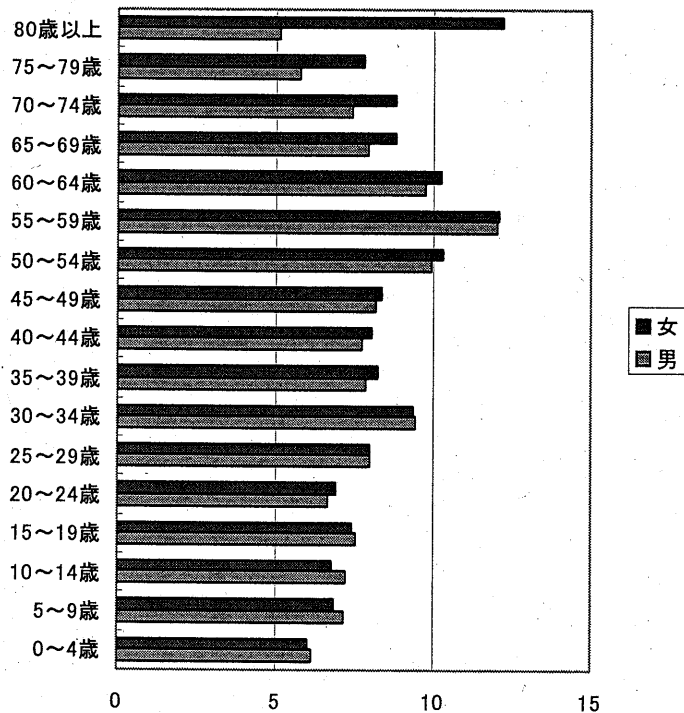


兵庫県推計人口 (平成19年10月)

② 性別・年齢階級別人口

(平成17年) (単位：人)

区分	男	女
0~4歳	6,135	5,986
5~9歳	7,173	6,808
10~14歳	7,224	6,778
15~19歳	7,501	7,414
20~24歳	6,662	6,874
25~29歳	8,002	7,944
30~34歳	9,453	9,339
35~39歳	7,866	8,202
40~44歳	7,712	8,031
45~49歳	8,134	8,348
50~54歳	9,913	10,313
55~59歳	11,997	12,092
60~64歳	9,746	10,268
65~69歳	7,883	8,823
70~74歳	7,384	8,821
75~79歳	5,750	7,804
80歳以上	5,096	12,224
不詳	399	203
合計	134,030	146,272



資料 総務省統計局「平成17年国勢



(3) 人口動態

① 人口動態の推移

年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8年	2,688	9.2	2,652	9.1	15	5.6
10年	2,684	9.2	2,670	9.2	14	5.2
12年	2,665	9.3	2,745	9.5	10	3.7
14年	2,463	8.6	2,663	9.3	15	6.1
16年	2,298	8.1	2,800	9.9	14	6.1
17年	2,242	8.0	2,878	10.2	18	8.0
(全県17年)	47,273	8.6	46,657	8.5	228	4.8

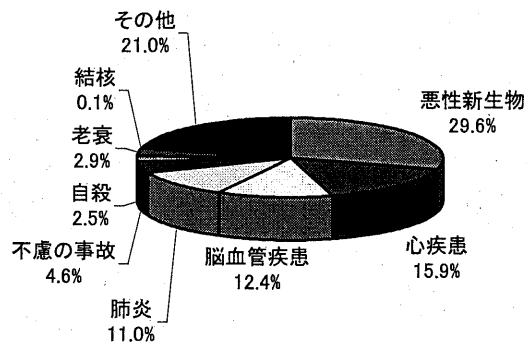
資料 厚生労働省「人口動態統計」

※(3)①の平成17年の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

② 死因別死亡割合

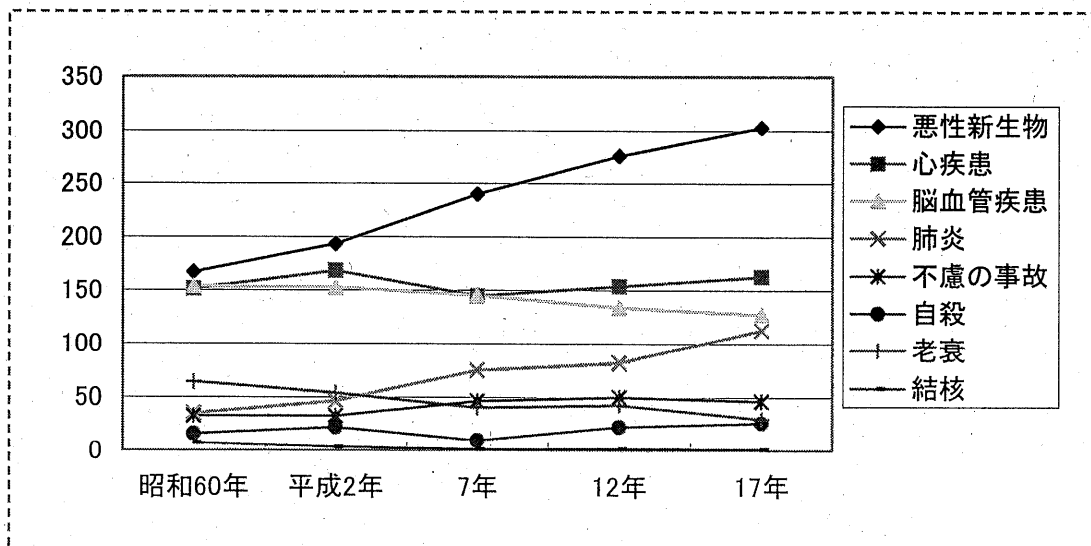
(平成17年) (単位:人)

死因	死亡数
悪性新生物	850
心疾患	458
脳血管疾患	357
肺炎	317
不慮の事故	131
自殺	73
老衰	83
結核	4
その他	605
計	2,878



資料 厚生省「平成17年人口動態統計」

③ 主な死因別死亡率の推移

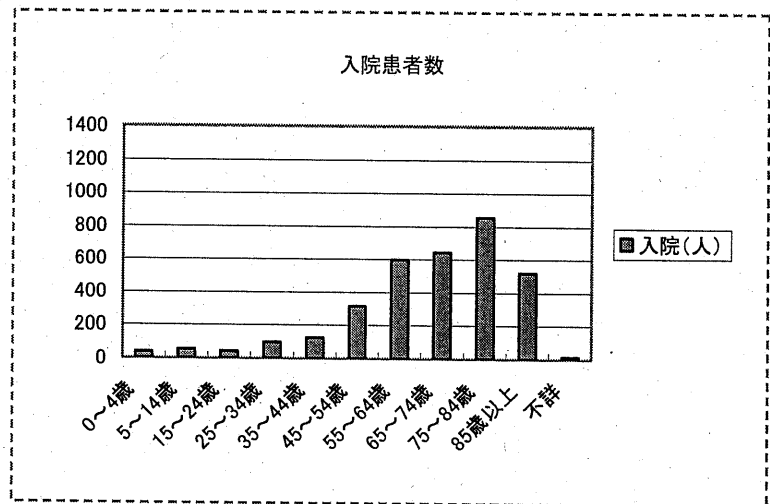


(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数

(平成 17 年) (単位:人)

区分	入院患者数
0~4 歳	40
5~14 歳	54
15~24 歳	41
25~34 歳	96
35~44 歳	125
45~54 歳	315
55~64 歳	597
65~74 歳	645
75~84 歳	852
85 歳以上	521
不詳	16
合計	3302

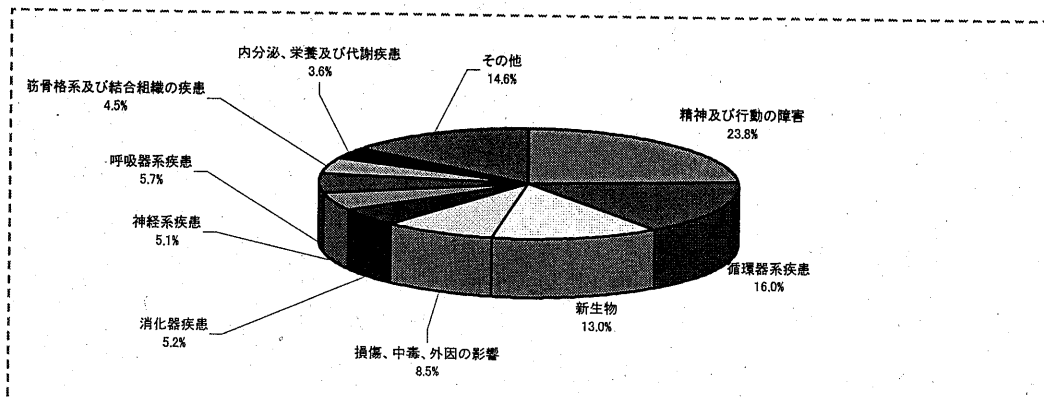


資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入院患者数 (人)	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	785	607	77.3
循環器系疾患	528	411	77.8
新生物	430	239	55.6
損傷、中毒、外因の影響	282	247	87.6
消化器疾患	171	120	70.2
神経系疾患	168	126	75.0
呼吸器系疾患	189	155	82.0
筋骨格系及び結合組織の疾患	149	115	77.2
内分泌、栄養及び代謝疾患	118	99	83.9
その他	482	318	83.2
合計	3302	2437	73.8

資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」



資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

## (5) 保健医療施設

## ① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成17年10月現在)

	施設数	人口10万対	
		西播磨圏域	全 県
病 院	23	8.2	6.3
一 般 診 療 所	186	66.2	85.9
歯 科 診 療 所	111	39.5	51.2

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

## ② 病床数

(平成19年4月1日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病床数	既 存 病床数	うち、療 養病床	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数
西播磨圏域	2,988	2,921	749	—	918	—	—	—	4
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調べ」

## ③ 診療科別一般病院延べ数

(平成17年10月現在)

	内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科	
	病 院 数	18	7	11	9	9	7	3	16	14	5
人 口 10 万 対	圏 域	6.4	2.5	3.9	3.2	3.2	2.5	1.1	5.7	5.0	1.8
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

	心 臓 血 管 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科・ 口 腔 外 科	
	実 数	2	3	12	6	9	7	15	11	6	8
人 口 10 万 対	圏 域	0.7	1.1	4.3	2.1	3.2	2.5	5.3	3.9	2.1	2.8
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

## ④ 薬局数

(平成19年3月31日現在)

実数	人口10万対	
	西播磨圏域	全 県
111	39.7	41.8

資料「兵庫県薬務課調べ」

## ⑤ 訪問看護ステーション数 (平成19年3月31日現在)

実 数	人口10万対	
	西播磨圏域	全 県
22	7.9	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

## (6) 保健医療従事者

## ① 医師

※ ①～③の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

## ＜医師数＞

(平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		西播磨圏域	全県
医師	393	139.1	207.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

## ＜主な診療科別医師数＞

	実数	内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科
		人口10万対	圏域	42.5	1.4	3.9	2.5	5.0	6.4	0	19.8
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

	実数	心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
		人口10万対	圏域	0.7	5.0	7.8	3.5	2.5	2.1	1.4
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	1.4	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

## ② 歯科医師

(平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		西播磨圏域	全県
歯科医師	132	46.7	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

## ③ 薬剤師

(平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		西播磨圏域	全県
薬剤師数	408	144.4	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

## ④ 看護職員

(平成16年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	西播磨圏域	全県
助産師	18	2	1	2	23	8.2	17.5
看護師	1.164	207	0	305	1676	600.6	617.3
准看護師	508	289	0	239	1036	371.3	248.2
	従事先					人口10万対	
	保健所	市	事業所	その他	合計	西播磨圏域	全県
保健師	23	73	1	5	102	36.6	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

## ⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	67

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市町(市町栄養改善業務に従事)	市町における配置率(%)	
			西播磨圏域	全県
	6	10	100	

資料 「行政栄養士等の調査」

## ⑥ 歯科衛生士 (平成 18 年 12 月末現在)

(平成 19 年 4 月現在)

	業 務 従事者数	人口 10 万対	
		西播磨圏域	全 県
歯科衛生士	151	54.1	63.7

資料 「平成 18 年業務従事者届」

行政従事 歯科衛生士数	実 数
	3

(健康福祉事務所調べ)

## 2 圏域の重点的な取組

圏域で3～5項目程度選定し、2～5ページ程度で記載

### (1) 項目名 (例：母子保健)

#### 現状と課題

(簡条書きで記載)

・

・

#### 推進方策

(簡条書きで記載)

・

・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (2) 項目名 (例：小児救急医療)

#### 現状と課題

(簡条書きで記載)

・

・

#### 推進方策

(簡条書きで記載)

・

・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

#### 現状と課題

(簡条書きで記載)

・

・

#### 推進方策

(簡条書きで記載)

・

・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

# 但馬保健医療圏域

## 1 圏域の概要

### (1) 地域の特徴

但馬地域は、兵庫県の北部に位置し、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町の3市2町から構成され、東は京都府、西は鳥取県、南は播磨・丹波地域、北は日本海に面している。

管内の面積は2,133.5km<sup>2</sup>と県土の4分の1を占め、その83%を山林が占めている。

人口は、平成17年国勢調査によると、191,211人で県全体の約3.4%にとどまり、人口密度も89.6人/km<sup>2</sup>と県下で最も低く、人口推移をみると昭和25年をピークに減少し続け、過疎化が進んでいる。また、少子化や若者の流出などによる高齢化も進んでおり、高齢化率も28.7%と県平均の20.5%を大きく上回っている。

近年は、コウノトリ野生復帰の推進をはじめとする、人と自然が共生する地域づくりを進めている。

医療提供体制では、各自治体病院等の医師不足が深刻化しており、継続的かつ安定的に但馬地域の医療を確保するための体制づくりが課題となっている。

平成18年3月には、「第2次但馬地域ビジョン推進プログラム」が策定され、但馬地域の将来像とその取組方向を明らかにした「但馬地域ビジョン」を道しるべに、地域住民と行政が「参画と協働」のもとに取り組む行動や事業・施策の推進を図り、新しい但馬づくりが進められている。

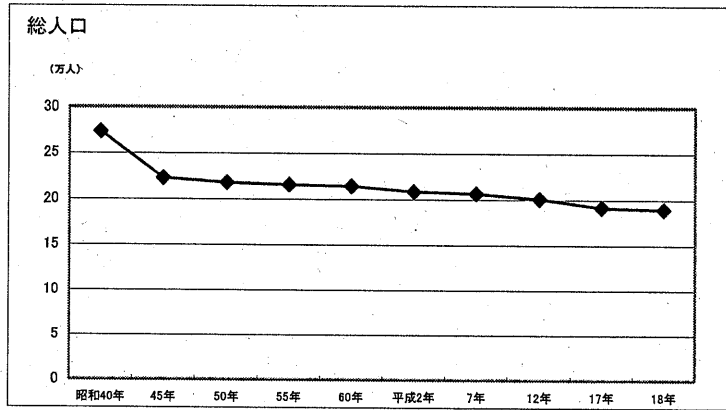


(2) 人口

① 人口推移

(単位：人)

年次	総人口
昭和 40 年	273, 611
45 年	222, 236
50 年	217, 816
55 年	215, 485
60 年	213, 805
平成 2 年	208, 242
7 年	205, 842
12 年	200, 803
17 年	191, 211
18 年	189, 391

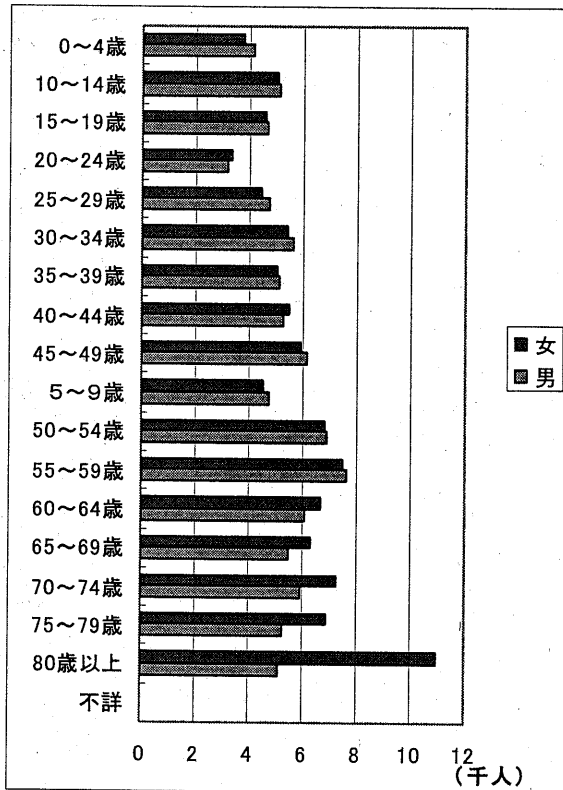


資料 総務省統計局「国勢調査報告」  
兵庫県推計人口 (平成 19 年 10 月)

② 性別・年齢階級別人口

(平成 17 年) (単位：人)

区分	男	女
0～4 歳	4, 176	3, 801
5～9 歳	4, 733	4, 510
10～14 歳	5, 121	5, 054
15～19 歳	4, 696	4, 580
20～24 歳	3, 208	3, 350
25～29 歳	4, 720	4, 437
30～34 歳	5, 659	5, 399
35～39 歳	5, 082	5, 072
40～44 歳	5, 269	5, 487
45～49 歳	6, 165	5, 954
50～54 歳	6, 916	6, 787
55～59 歳	7, 624	7, 480
60～64 歳	6, 080	6, 631
65～69 歳	5, 462	6, 317
70～74 歳	5, 943	7, 233
75～79 歳	5, 282	6, 858
80 歳以上	5, 111	10, 996
不詳	15	3
合計	91, 262	99, 949



資料 総務省統計局「平成 17 年国勢調査報告」

(3) 人口動態

① 人口動態の推移

年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8年	1,900	9.2	2,050	10.0	13	6.8
10年	1,867	9.2	2,066	10.1	13	6.9
12年	1,817	9.0	2,091	10.4	19	10.4
14年	1,683	8.5	2,148	10.8	5	3.0
16年	1,521	7.8	2,252	11.6	7	4.6
17年	1,504	7.8	2,301	11.9	2	1.3
(全県17年)	47,273	8.6	46,657	8.5	228	4.8

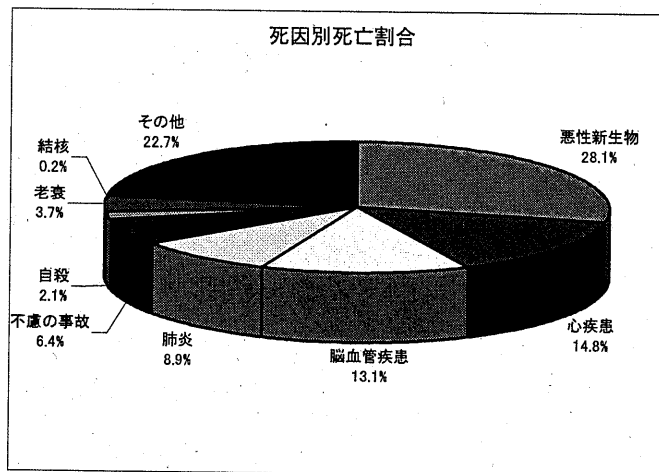
資料 厚生労働省「人口動態統計」

※(3)①の平成17年の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

② 死因別死亡割合

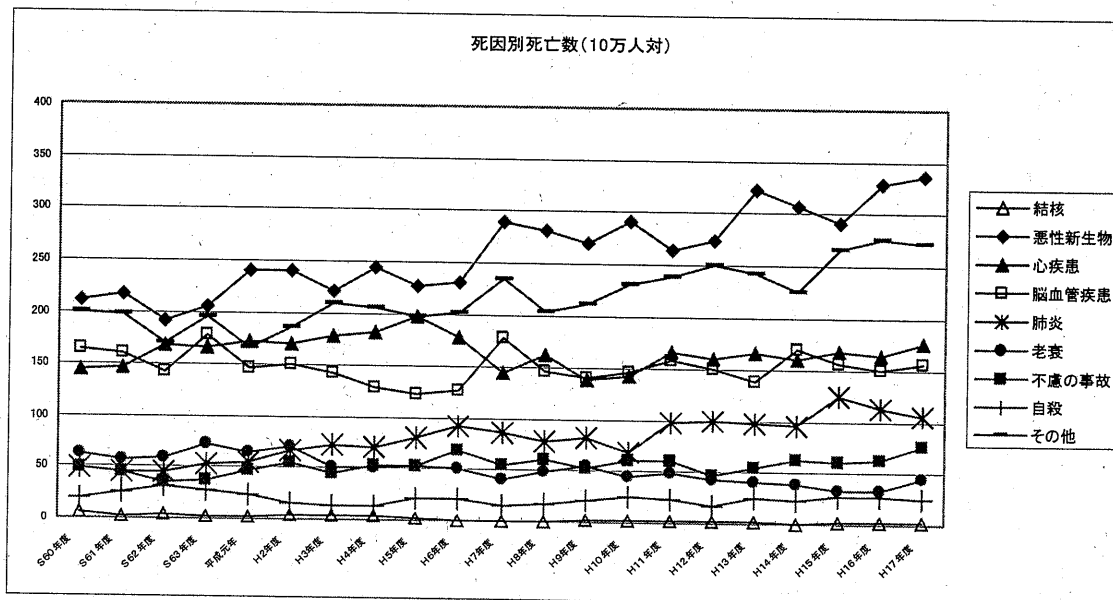
(平成17年) (単位:人)

死因	死亡数
悪性新生物	647
心疾患	340
脳血管疾患	302
肺炎	204
不慮の事故	148
自殺	48
老衰	85
結核	4
その他	523
計	2,301



資料 厚生省「平成17年人口動態統計」

③ 主な死因別死亡率の推移

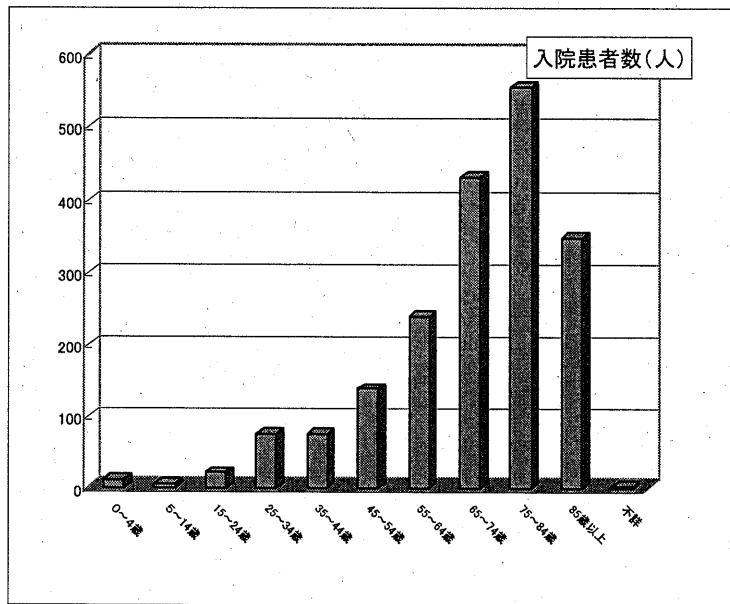


(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数

(平成 17 年) (単位:人)

区分	入院患者数
0~4 歳	11
5~14 歳	7
15~24 歳	21
25~34 歳	76
35~44 歳	75
45~54 歳	138
55~64 歳	241
65~74 歳	432
75~84 歳	554
85 歳以上	348
不詳	3
合計	1,906

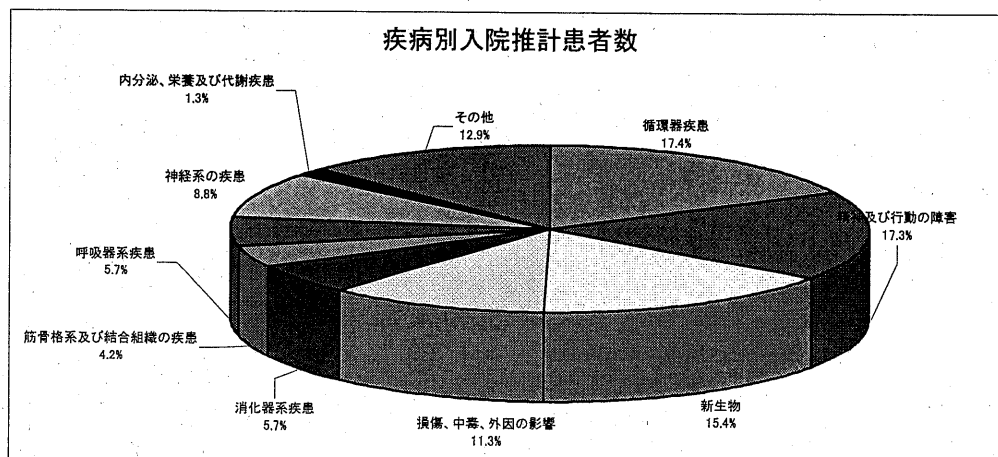


資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入院患者数 (人)	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	332	216	65.1
循環器系疾患	330	241	73.0
新生物	294	230	78.2
損傷、中毒、外因の影響	215	178	82.8
消化器疾患	109	101	92.7
神経系疾患	167	125	74.9
呼吸器系疾患	109	97	89.0
筋骨格系及び結合組織の疾患	80	61	76.3
内分泌、栄養及び代謝疾患	25	19	76.0
その他	245	182	74.3
合計	1,906	1,450	76.1

資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」



(5) 保健医療施設

① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成 17 年 10 月現在)

	施設数	人口 10 万対	
		但馬圏域	全 県
病 院	14	7.3	6.3
一 般 診 療 所	137	71.0	85.8
歯 科 診 療 所	76	39.4	51.2

資料 厚生労働省「平成 17 年医療施設調査」

② 病床数

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	う ち、療 養 病 床	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数
但馬圏域	1,941	1,709	340	—	—	—	—	—	—
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調べ」

③ 診療科別一般病院延べ数

(平成 17 年 10 月現在)

		内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科
		病 院 数	11	2	6	4	6	2	2	10	7
人 口 10 万 対	圏 域	5.7	1.0	3.1	2.1	3.1	1.0	1.0	5.2	3.6	2.1
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

		心 臓 血 管 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科・ 口 腔 外 科
		実 数	1	4	9	4	4	4	7	6	2
人 口 10 万 対	圏 域	0.5	2.1	4.7	2.1	2.1	2.1	3.6	3.1	1.0	1.0
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成 17 年医療施設調査」

④ 薬局数

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

実数	人口 10 万対	
	但馬圏域	全 県
90	47.1	41.8

資料「兵庫県薬務課調べ」

⑤ 訪問看護ステーション数

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

実 数	人口 10 万対	
	圏 域	全 県
11	5.8	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

(6) 保健医療従事者

① 医師

※ ①～③の数値は、後日(平成 19 年 12 月頃)平成 18 年の数値に修正する。

<医師数>

(平成 16 年 12 月末現在)

	実 数	人口 10 万対	
		但馬圏域	全 県
医 師	336	172.4	207.1

資料 厚生労働省「平成 16 年医師、歯科医師、薬剤師調査」

<主な診療科別医師数>

		内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科
実数		109	4	13	8	19	17	7	36	22	7
人口10万対	圏域	55.9	2.1	6.7	4.1	9.7	8.7	3.6	18.5	11.3	3.6
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

		心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
実数		3	14	17	11	8	8	1	5	7
人口10万対	圏域	1.5	7.2	8.7	5.6	4.1	4.1	0.5	2.6	3.6
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	1.4	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

② 歯科医師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		但馬圏域	全県
歯科医師	95	48.7	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

③ 薬剤師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		但馬圏域	全県
薬剤師数	262	134.4	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

④ 看護職員 (平成18年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	但馬圏域	全県
助産師	39	—	4	1	44	23.3	17.5
看護師	999	195	—	298	1,492	789.0	617.3
准看護師	213	148	—	142	503	266.0	248.2
	従事先					人口10万対	
	保健所	市	事業所	その他	合計	但馬圏域	全県
保健師	21	73	—	5	99	52.4	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	32

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市町(市町栄養改善業務に従事)	市町における配置率(%)	
			但馬圏域	全県
	4	12	80.0	92.7

資料 「行政栄養士等の調査」

⑥ 歯科衛生士 (平成18年12月末現在) (平成19年4月現在)

	業務従事者数	人口10万対	
		但馬圏域	全県
歯科衛生士	100	52.9	64.6

資料 「平成18年業務従事者届」

行政従事 歯科衛生士数	実数
	2

(健康福祉事務所調べ)

## 2 圏域の重点的な取組

圏域で3～5項目程度選定し、2～5ページ程度で記載

### (1) 項目名 (例：母子保健)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (2) 項目名 (例：小児救急医療)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

### (3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

#### 現状と課題

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 推進方策

(箇条書きで記載)

- ・
- ・

#### 目 標

(数値目標がある場合に記載)

# 丹波保健医療圏域

## 1 圏域の概要

### (1) 地域の特性

兵庫県の中東部に位置し、篠山市(面積 377.61km<sup>2</sup>—県土の 4.5%)と丹波市(面積 493.28km<sup>2</sup>—県土の 5.9%)の2市からなり、兵庫県総面積の 10.4%を占めている。

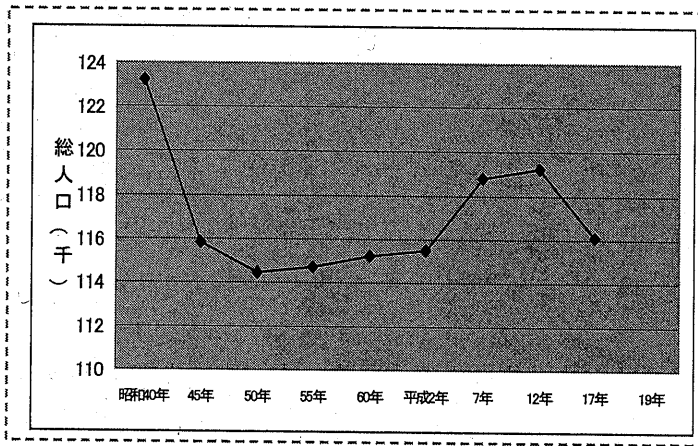
また、中国山地の最東部にあたり、古生層から成る、いわゆる丹波高原とその中に形成される盆地集団から成り、瀬戸内海にそそぐ加古川、武庫川、日本海にそそぐ由良川の最上流にあたる農山村地帯で山林が 75.0%を占めている。

### (2) 人口

#### ① 人口推移

(単位：人)

年次	総人口
昭和 40 年	123, 223
45 年	115, 869
50 年	114, 427
55 年	114, 667
60 年	115, 247
平成 2 年	115, 461
7 年	118, 740
12 年	119, 187
17 年	116, 055
19 年	

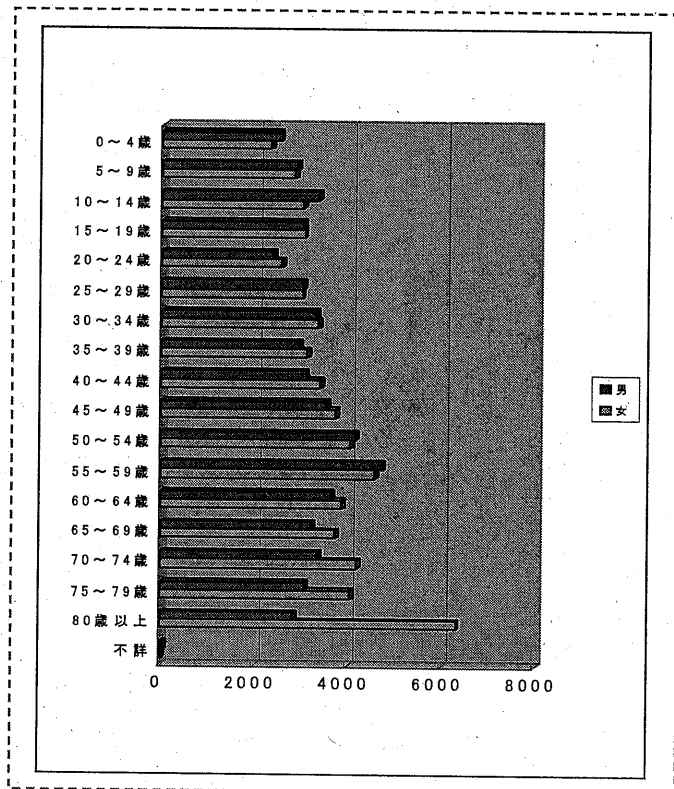


資料 総務省統計局「国勢調査報告」  
兵庫県推計人口(平成 19 年 10 月)

#### ② 性別・年齢階級別人口

(平成 17 年) (単位：人)

区分	男	女
0～4 歳	2, 528	2, 330
5～9 歳	2, 867	2, 826
10～14 歳	3, 355	3, 021
15～19 歳	3, 014	3, 045
20～24 歳	2, 379	2, 557
25～29 歳	3, 006	3, 000
30～34 歳	3, 286	3, 355
35～39 歳	2, 932	3, 123
40～44 歳	3, 087	3, 402
45～49 歳	3, 542	3, 707
50～54 歳	4, 155	4, 047
55～59 歳	4, 722	4, 554
60～64 歳	3, 641	3, 852
65～69 歳	3, 213	3, 705
70～74 歳	3, 345	4, 179
75～79 歳	3, 058	4, 043
80 歳以上	2, 837	6, 309
不詳	25	8
合計	54, 992	61, 063



資料 総務省統計局「平成 17 年国勢調査報告」



(3) 人口動態

① 人口動態の推移

年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8年	1,044	8.7	1,297	10.9	12	11.4
10年	1,095	9.1	1,334	11.1	6	5.5
12年	1,099	9.2	1,287	10.8	4	3.6
14年	1,039	8.8	1,274	10.7	7	6.7
16年	976	8.3	1,309	11.1	6	6.1
17年	827	7.1	1,348	11.5	4	4.8
(全県17年)	47,273	8.6	46,657	8.5	228	4.8

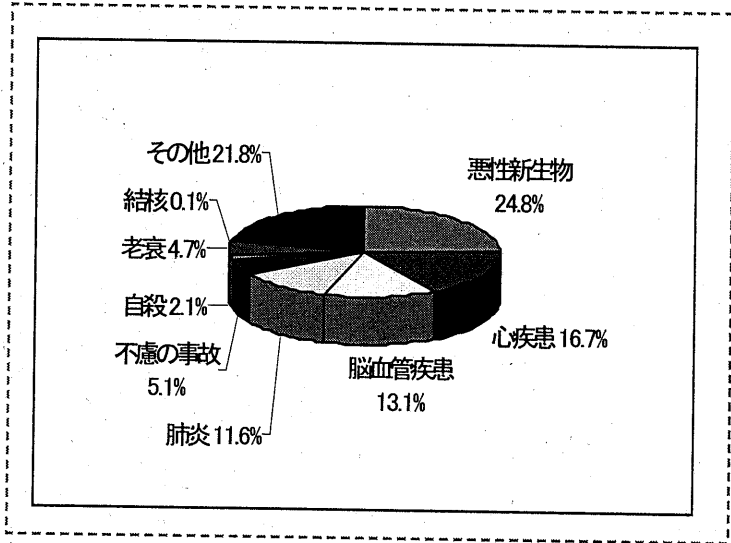
資料 厚生労働省「人口動態統計」

※(3)①の平成17年の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

② 死因別死亡割合

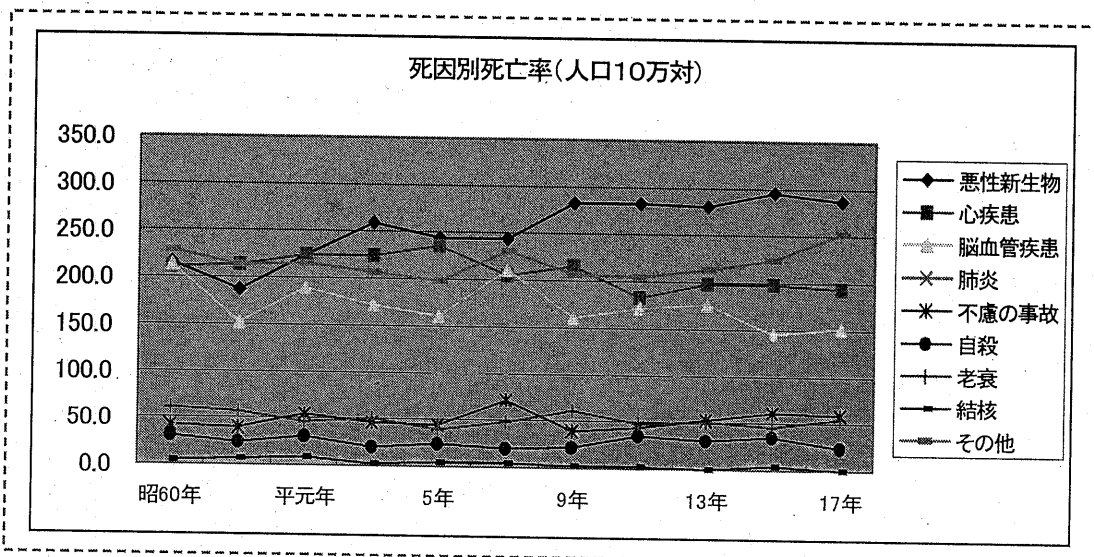
(平成17年) (単位:人)

死因	死亡数
悪性新生物	334
心疾患	225
脳血管疾患	177
肺炎	156
不慮の事故	69
自殺	28
老衰	64
結核	1
その他	294
計	1,348



資料 厚生省「平成17年人口動態統計」

③ 主な死因別死亡率の推移

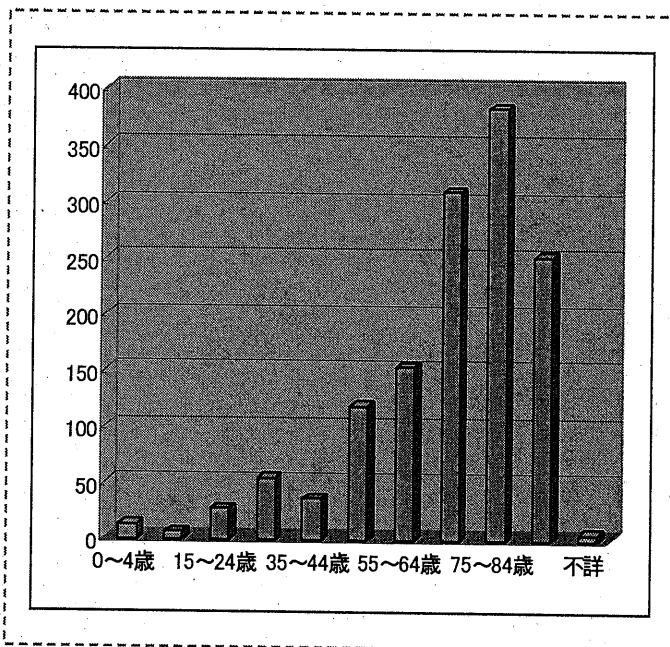


(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数

(平成 17 年) (単位:人)

区分	入院患者数
0~4 歳	12
5~14 歳	6
15~24 歳	27
25~34 歳	54
35~44 歳	36
45~54 歳	118
55~64 歳	153
65~74 歳	309
75~84 歳	383
85 歳以上	252
不詳	5
合計	1,355

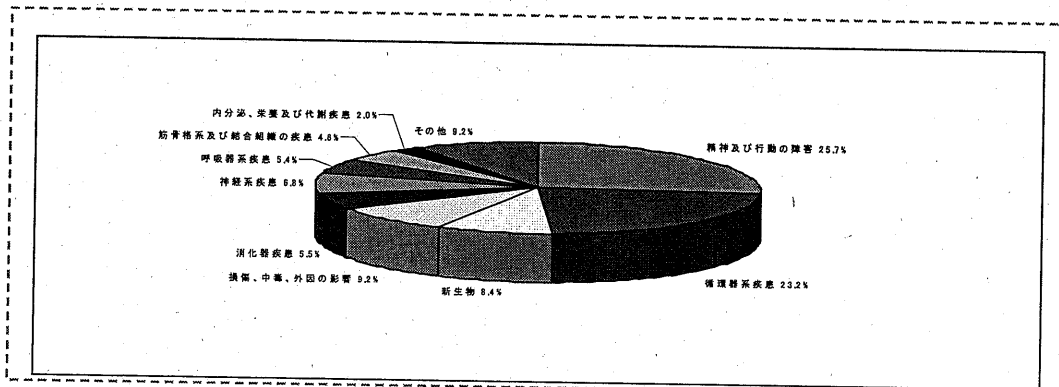


資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入院患者数 (人)	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	348	191	54.9
循環器系疾患	315	249	79.1
新生物	114	78	68.4
損傷、中毒、外因の影響	124	109	87.9
消化器疾患	74	64	86.5
神経系疾患	92	43	46.7
呼吸器系疾患	73	64	87.7
筋骨格系及び結合組織の疾患	62	51	82.3
内分泌、栄養及び代謝疾患	27	17	63.0
その他	126	96	76.2
合計	1,355	962	71.0

資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」



資料 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

(5) 保健医療施設

① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成 17 年 10 月現在)

	施設数	人口 10 万対	
		丹波圏域	全 県
病 院	7	6.0	6.3
一 般 診 療 所	85	72.8	85.8
歯 科 診 療 所	50	42.8	51.2

資料 厚生労働省「平成 17 年医療施設調査」

② 病床数

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病床数	既 存 病床数	うち、療 養病床	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数	基 準 病床数	既 存 病床数
丹波圏域	1,324	1,310	514	—	266	—	0	—	4
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調べ」

③ 診療科別一般病院延べ数

(平成 17 年 10 月現在)

	内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科	
											病 院 数
病 院 数	6	2	4	4	5	2	2	5	5	3	
人 口 10 万 対	圏 域	5.1	1.7	3.4	3.4	4.3	1.7	1.7	4.3	4.3	2.6
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

	心 臓 血 管 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科 ・ 口 腔 外 科
実 数	0	3	4	2	3	3	5	6	3	2
人 口 10 万 対	圏 域	0.0	2.6	3.4	1.7	2.6	4.3	5.1	2.6	1.7
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成 17 年医療施設調査」

④ 薬局数

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

実数	人口 10 万対	
	丹波圏域	全 県
44	38.3	41.8

資料「兵庫県薬務課調べ」

⑤ 訪問看護ステーション数

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

実 数	人口 10 万対	
	丹波圏域	全 県
9	7.9	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

(6) 保健医療従事者

① 医師

※ ①～③の数値は、後日(平成 19 年 12 月頃)平成 18 年の数値に修正する。

<医師数>

(平成 16 年 12 月末現在)

	実 数	人口 10 万対	
		丹波圏域	全 県
医 師	212	180.5	207.1

資料 厚生労働省「平成 16 年医師、歯科医師、薬剤師調査」

＜主な診療科別医師数＞

	内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科	
実数	75	0	1	1	12	7	0	35	19	4	
人口10万対	圏域	63.9	0.0	0.9	0.9	10.2	6.0	0.0	29.8	16.2	3.4
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

	心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
実数	0	11	10	6	3	6	3	4	5
人口10万対	圏域	0.0	9.4	8.5	5.1	2.6	2.6	3.4	4.3
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

② 歯科医師

(平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		丹波圏域	全県
歯科医師	59	50.2	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

③ 薬剤師

(平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		丹波圏域	全県
薬剤師数	203	172.9	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

④ 看護職員

(平成18年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	丹波圏域	全県
助産師	19	2	0	0	21	18.3	17.5
看護師	454	71	0	130	655	571.1	617.3
准看護師	179	109	0	82	370	322.6	248.2
	従事先					人口10万対	
	保健所	市	事業所	その他	合計	丹波圏域	全県
保健師	12	38	0	3	53	46.2	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数
	25

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市(市栄養改善業務に従事)	市町における配置率(%)	
			丹波圏域	全県
	2	7	100	92.7

資料 「行政栄養士等の調査」

⑥ 歯科衛生士

(平成18年12月末現在)

(平成19年4月現在)

	業務従事者数	人口10万対	
		丹波圏域	全県
歯科衛生士	66	57.5	63.7

資料 「平成18年業務従事者届」

行政従事 歯科衛生士数	実数
	2

(健康福祉事務所調べ)

## 2 圏域の重点的な取組

圏域で3～5項目程度選定し、2～5ページ程度で記載

### (1) 項目名 (例：母子保健)

**現状と課題**

(簡条書きで記載)

**推進方策**

(簡条書きで記載)

**目 標**

(数値目標がある場合に記載)

### (2) 項目名 (例：小児救急医療)

**現状と課題**

(簡条書きで記載)

**推進方策**

(簡条書きで記載)

**目 標**

(数値目標がある場合に記載)

### (3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

**現状と課題**

(簡条書きで記載)

**推進方策**

(簡条書きで記載)

**目 標**

(数値目標がある場合に記載)

# 淡路保健医療圏域

## 1 圏域の概要

### (1) 地域の特性

洲本市、南あわじ市、淡路市の3市からなる淡路圏域は、総面積595.85km<sup>2</sup>で、県土面積(8,395.47km<sup>2</sup>)の7.1%を占めている。

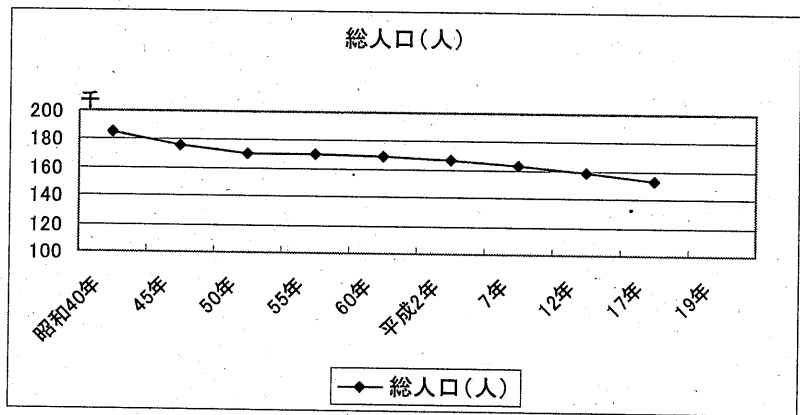
淡路島は瀬戸内海の東端に位置し、南北55km(淡路市松帆～南あわじ市沼島)・東西28km(洲本市由良～南あわじ市阿那賀)の細長い島で、東は大阪湾、紀淡海峡を隔てて大阪府、和歌山県に、南は大鳴門橋で徳島県に、北は明石海峡大橋で神戸市に隣接している。近年、人口減少が著しく、島外流出等による社会減が、自然減(死亡・出生等)を上回っている。

### (2) 人口

#### ① 人口推移

(単位：人)

年次	総人口
昭和40年	185,473
45年	175,918
50年	170,133
55年	170,220
60年	169,044
平成2年	166,218
7年	162,738
12年	159,111
17年	152,404
19年	

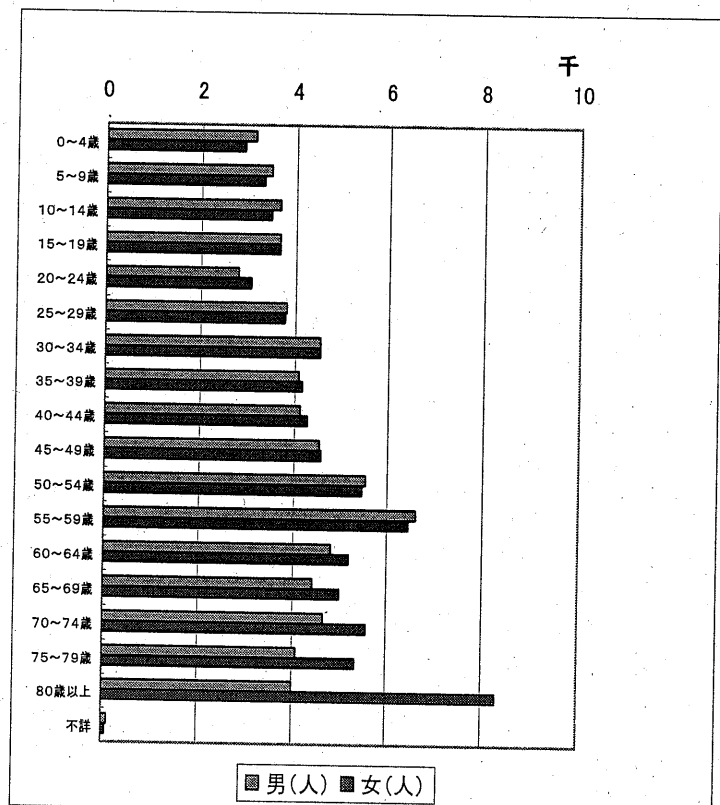


資料 総務省統計局「国勢調査報告」  
兵庫県推計人口(平成19年10月)

#### ② 性別・年齢階級別人口

(平成17年) (単位：人)

区分	男	女
0～4歳	3,157	2,935
5～9歳	3,467	3,351
10～14歳	3,666	3,490
15～19歳	3,673	3,657
20～24歳	2,790	3,057
25～29歳	3,838	3,792
30～34歳	4,557	4,531
35～39歳	4,075	4,180
40～44歳	4,112	4,274
45～49歳	4,559	4,589
50～54歳	5,530	5,462
55～59歳	6,608	6,447
60～64歳	4,806	5,176
65～69歳	4,433	4,987
70～74歳	4,674	5,552
75～79歳	4,098	5,351
80歳以上	4,028	8,290
不詳	109	90
合計	72,180	79,211



資料 総務省統計局「平成17年国勢調査報告」





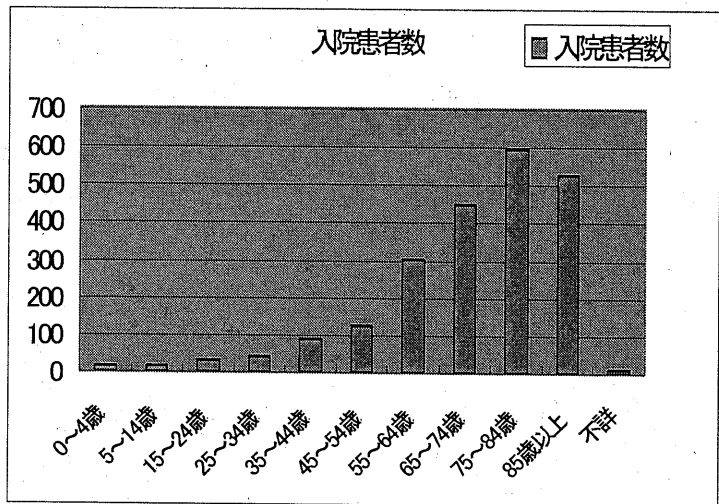


(4) 受療動向

① 年齢階級別推計入院患者数

(平成 17 年) (単位: 人)

区分	入院患者数
0~4 歳	16
5~14 歳	17
15~24 歳	29
25~34 歳	44
35~44 歳	88
45~54 歳	126
55~64 歳	301
65~74 歳	449
75~84 歳	597
85 歳以上	529
不詳	12
合計	2,209

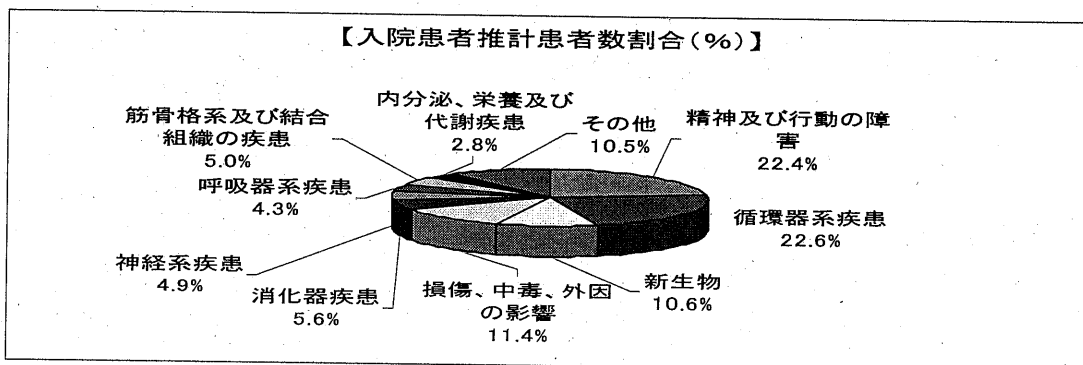


資料: 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

② 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数 (人)	うち圏域内の入院患者数 (人)	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	494	360	72.9
循環器系疾患	499	454	91.0
新生物	234	169	72.2
損傷、中毒、外因の影響	251	236	94.0
消化器疾患	123	105	85.4
神経系疾患	108	74	68.5
呼吸器系疾患	96	90	93.8
筋骨格系及び結合組織の疾患	111	71	64.0
内分泌、栄養及び代謝疾患	61	51	83.6
その他	232	179	77.2
合計	2,209	1,789	81.0

資料: 厚生労働省「平成 17 年患者調査」



資料: 厚生労働省「平成 17 年患者調査」

(5) 保健医療施設

① 病院・診療所・歯科診療所数

(平成17年10月現在)

	施設数	人口10万対	
		淡路圏域	全 県
病 院	12	7.9	6.3
一 般 診 療 所	142	93.2	85.8
歯 科 診 療 所	76	49.9	51.2

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

② 病床数

(平成19年4月1日現在)

	一般・療養病床			精神病床		結核病床		感染症病床	
	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	うち、療 養 病 床	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数	基 準 病 床 数	既 存 病 床 数
淡路圏域	1,644	1,705	1,027	—	393	—	26	—	4
全 県	50,849	53,071	15,372	10,771	11,535	339	391	56	52

既存病床数資料 「兵庫県医務課調べ」

③ 診療科別一般病院延べ数

(平成17年10月現在)

		内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	精 神・ 神 經 科	神 經 内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科
		病 院 数	11	2	6	5	3	2	1	8	8
人 口 10 万 対	圏 域	7.2	1.3	3.9	3.3	2.0	1.3	0.7	5.2	5.2	3.3
	全 県	5.3	1.5	3.3	2.8	2.0	1.5	1.1	4.3	4.2	1.9

		心 臓 血 管 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科・ 口 腔 外 科
		実 数	0	1	3	4	5	5	10	4	3
人 口 10 万 対	圏 域	0	0.7	2.0	2.6	3.3	3.3	6.6	2.6	2.0	2.0
	全 県	0.6	1.1	2.1	1.4	2.0	2.0	4.2	3.8	2.0	1.4

資料 厚生労働省「平成17年医療施設調査」

④ 薬局数

(平成19年3月31日現在)

実数	人口10万対	
	淡路圏域	全 県
81	54.2	41.8

資料「兵庫県薬務課調べ」

⑤ 訪問看護ステーション数

(平成19年3月31日現在)

実 数	人口10万対	
	淡路圏域	全 県
9	6.1	6.2

資料「兵庫県高齢社会課調べ」

(6) 保健医療従事者

① 医師

※ ①～③の数値は、後日(平成19年12月頃)平成18年の数値に修正する。

<医師数>

(平成16年12月末現在)

	実 数	人口10万対	
		淡路圏域	全 県
医 師	295	191.4	207.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

<主な診療科別医師数>

		内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神・神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科
実数		113	2	3	1	20	12	1	37	22	6
人口10万対	圏域	73.3	1.3	1.9	0.6	13.0	7.8	0.6	24.0	14.3	3.9
	全県	58.0	1.8	7.1	6.2	11.9	8.4	1.9	20.1	15.4	4.7

		心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
実数		2	11	14	8	8	8	2	4	6
人口10万対	圏域	1.3	7.1	9.1	5.2	5.2	5.2	1.3	2.6	3.9
	全県	1.7	7.9	11.1	7.4	6.2	4.5	1.4	4.2	4.4

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

② 歯科医師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		淡路圏域	全県
歯科医師	99	64.2	64.1

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

③ 薬剤師 (平成16年12月末現在)

	実数	人口10万対	
		淡路圏域	全県
薬剤師数	266	172.6	211.3

資料 厚生労働省「平成16年医師、歯科医師、薬剤師調査」

④ 看護職員 (平成16年12月末現在)

	従事先					人口10万対	
	病院	診療所	助産所	その他	合計	淡路圏域	全県
助産師	18	1	1	1	21	14.1	17.5
看護師	656	101	0	139	896	600.3	617.3
准看護師	364	204	0	126	694	465.0	248.2

	従事先				人口10万対		
	保健所	市	事業所	その他	合計	淡路圏域	全県
保健師	16	53	0	3	72	48.2	22.1

資料 兵庫県「平成18年業務従事者届」

⑤ 管理栄養士・栄養士

病院従事管理栄養士・栄養士 (平成19年5月現在)	実数

資料 「病院給食常食栄養月報」

行政従事管理栄養士・栄養士 (平成19年7月1日現在)	保健所	市町(市町栄養改善業務に従事)	市町における配置率(%)	
			淡路圏域	全県

資料 「行政栄養士等の調査」

⑥ 歯科衛生士 (平成18年12月末現在) (平成19年4月現在)

	業務従事者数	人口10万対	
		淡路圏域	全県
歯科衛生士	60	40.1	63.6

資料 「平成18年業務従事者届」

行政従事 歯科衛生士数	実数
	3

(健康福祉事務所調べ)

## 2 圏域の重点的な取組

圏域で3～5項目程度選定し、2～5ページ程度で記載

## (1) 項目名 (例：母子保健)

**現状と課題**

(箇条書きで記載)

.

.

**推進方策**

(箇条書きで記載)

.

.

**目 標**

(数値目標がある場合に記載)

## (2) 項目名 (例：小児救急医療)

**現状と課題**

(箇条書きで記載)

.

.

**推進方策**

(箇条書きで記載)

.

.

**目 標**

(数値目標がある場合に記載)

## (3) 項目名 (例：在宅ターミナルケア)

**現状と課題**

(箇条書きで記載)

.

.

**推進方策**

(箇条書きで記載)

.

.

**目 標**

(数値目標がある場合に記載)

## 第4部 計画の推進

## 第4部 計画の推進

### 1 計画の推進

保健医療計画は、県民の健康を保健・医療の両面から支援するための県の計画であると同時に、県民、関係機関、関係団体、市町等の参画と協働のもと、それぞれが取り組むべき基本的指針（ガイドライン）としての性格をもつ。

したがって、計画の総論、各論の各項目の推進方策については、それぞれ推進主体がそれぞれの役割分担のもと相互に連携をとりながら、目標達成に向けて取組みを展開する必要がある。

### 2 計画の検証・評価

計画に掲げた目標、指標がどの程度達成されたかを検証・評価し、推進方策の妥当性の検討につなげる必要がある。

数値目標は、達成状況を統計や各種事業に伴う調査等を通じて原則として毎年度把握するとともに、推進方策についての実施状況や推進上の課題を整理する。

これにより、目標の達成に向けた推進方策の妥当性や具体的実施方法の評価を行い、必要に応じて、推進方策の見直しや実施方法の改善を図り、目標達成に向けた推進方策の見直しを行う。

### 3 推進体制

#### (1) 1次保健医療圏域（市町）

1次保健医療圏域は、基本的な保健サービスの提供とプライマリーケアの確保を図る単位である。

このため、市町は、県健康福祉事務所や保健医療関係団体と協力して、計画的に保健事業を展開する。

#### (2) 2次保健医療圏域（10圏域）

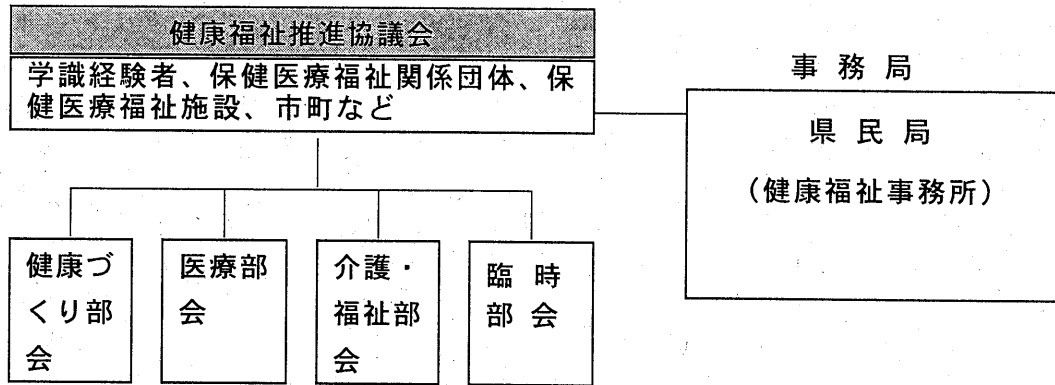
2次保健医療圏域は、入院医療の確保を図り、医療提供体制の確保を図る基本的な区域である。このため、医療関係団体や地域の医療機関などにより医療提供体制のネットワーク化を推進する。

また、保健・医療・福祉の各関係機関の連携により、健康増進からリハビリテーションにいたる包括的な保健医療提供体制の確立を図る。

2次保健医療圏域と同一の管轄区域を持つ県民局が、健康福祉推進協議会の意見を聴きながら、県民、関係機関、関係団体を含めた計画の幅広い推進を図るとともに、定期的に進捗状況を把握・評価し、その評価を踏まえてさらなる推進を図るものとする。

なお、医療分野によっては、単独の2次保健医療圏域で医療機能が完結せず、隣接圏域と一体となって当該医療連携体制の構築を図ることが必要となる場合がある。そうした場合は、関係する健康福祉推進協議会が合同で連絡会議を開催するなどして、円滑な連携を図ることとする。

### 2次保健医療圏域における推進体制

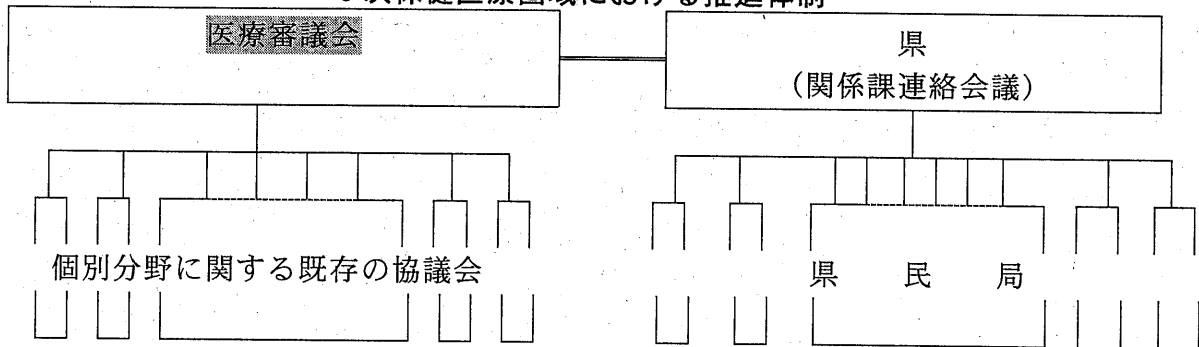


### (3) 3次保健医療圏域（全県）

高度特殊な保健医療サービスを提供し、保健医療ネットワークの完結をめざす区域である。このため、県が各分野の推進状況と推進上の課題を把握し、推進のための支援や基盤整備を行う。

全県における保健医療計画の進捗状況については、県が定期的に把握し、必要に応じて県医療審議会あるいは個別分野に関して設置されている協議会などの意見を聴いて、評価を行うとともにさらなる推進を図る。

### 3次保健医療圏域における推進体制



## 4 各主体の役割

本計画が、県民、関係機関、関係団体及び行政などが取り組むべきガイドラインであることから、各主体は、本計画の趣旨を十分理解し、主体的に計画の推進に取り組む必要がある。

各主体の役割は、本計画の各項目において随時記述しているが、その概要を改めてまとめると以下のとおりである。

#### (1) 県民

県民は、「自分の健康は自分で守り高める」ことを自覚し、「ひょうご健康づくり県民行動指標」に基づき、主体的に健康づくりを実践する。

医療を受ける際には、医療機関に関する情報をもとに、自己の責任と判断によって良質な医療サービスを選択するとともに、適切な応急手当やAEDの使用方法などを積極的に習得することなどにより、県民も自覚と責任を持って医療に参加する。

また、少子化や核家族化が進展する中で、県民は、小児の発達段階に応じた具体的



な事故防止方法の習得や子どもの生活習慣の育成に対する認識を高めることなどにより、育児力、家庭の教育力などを身につけるよう努力する。

## (2) 地域組織、民間非営利組織（NPO）

いずみ会や愛育班など健康づくりを目的とした地域組織、生活習慣病患者等の自助グループ、その他保健・医療分野の民間非営利組織は、自主的な健康づくりなどの取組みを展開し、あるいは、リーダーとして地域住民へ健康づくりを働きかける。

## (3) 医療機関

### ア 診療所

県民の身近な存在である診療所の医師・歯科医師は、かかりつけ医として、県民のプライマリーケアを受け持ち、必要に応じて専門医療機関などへの紹介を行うとともに、生涯を通じた健康づくりを推進する。

### イ 病院

病院は、入院を伴う医療を提供する機関である。地域医療提供体制のネットワーク化をめざす観点から病院相互の機能分担と業務連携を進めるとともに、医療事故の防止や診療情報の提供に努め、良質で安全な医療の提供を推進する。

### ウ 薬局

薬局は、医薬分業により、地域住民のかかりつけ薬局として、病院や診療所と連携し、重複投薬や薬剤の相互作用による副作用の未然防止、患者への処方内容の開示及び服用薬剤についての適切な情報提供などを行い、安全で適切な医薬品の提供を推進する。

## (4) 保健医療団体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会等の保健医療団体は、行政と連携して、かかりつけ医（歯科医）、地域医療連携、かかりつけ薬局、医薬分業などを推進することにより、県民の生涯を通じた健康づくりを支援し、地域医療提供体制のネットワーク化を図る。

また、医療従事者の資質向上に努めるとともに、医療提供体制や診療内容に関する情報を県民に積極的に提供する。

## (5) 学校・事業所

学校、事業所は、ライフステージに応じた健康づくりの立場から、校医、産業医を中心として、県健康福祉事務所、市町保健担当部局、地域産業保健センターなどと連携を図りながら児童、生徒、労働者の健康づくりを進めるとともに、地域における健康づくりの推進に協力する。

## (6) 市町

市町保健センター等の保健活動の拠点を整備・運営し、母子保健・老人保健事業等の身近で利用頻度の高い保健サービスを一体的かつ計画的に提供することにより、住民の健康づくりを中核となって推進する。また、初期救急医療などの1次医療の確保に努めるとともに、公立病院の運営などにより適切な2次医療を提供する。

なお、保健所設置市においては、地域保健医療に対する企画機能を有する保健所を中核として、住民のニーズに合致した総合的な保健医療施策を展開する。

## (7) 県

#### ア 健康福祉事務所

健康福祉事務所は、地域保健における広域的、専門的かつ技術的拠点として、精神保健、難病対策、エイズ対策等の専門的な保健サービスを提供するとともに、市町の保健活動への支援を行う。

計画の推進について、管内の市町への助言を行うほか、郡市単位の保健医療関係団体等との調整を行う。

#### イ 芦屋・宝塚・加古川・社・福崎・龍野・柏原・洲本健康福祉事務所及び但馬長寿の郷

上記健康福祉事務所及び但馬長寿の郷は、2次保健医療圏域における保健医療計画の推進を総括する役割を担う。

学識者、保健医療福祉関係団体、行政などの代表によって構成する健康福祉推進協議会において、計画の推進に関する協議を行うほか、保健医療計画圏域計画の作成、見直し及び進行管理を行う。

また、同協議会の意見を聞きながら、計画の達成状況の評価を行うとともに推進上の課題を把握・分析し、必要に応じて推進方策の見直しを行う。

#### ウ 県主管部局

県は、保健医療計画の作成主体として、県民局が把握した各分野の取り組み状況を総括し、計画全体の進捗状況を管理し、推進上の課題を把握するとともに、必要に応じて推進方策の見直しを行う。

また、医療分野において、2次保健医療圏域で完結できない高度特殊な医療機能の基盤整備を図るとともに、看護職員、理学療法士、作業療法士ら医療従事者の確保養成を行う。